

# 地方史情報 166

2024年3月

## 地方史研究雑誌目次速報 飯澤文夫 編

\*本誌に掲載した雑誌に関するお問い合わせは、発行元に直接お願いします。

|     |    |      |    |      |    |
|-----|----|------|----|------|----|
| 北海道 | 1  | 東京都  | 18 | 和歌山県 | 52 |
| 青森県 | 4  | 神奈川県 | 28 | 島根県  | 53 |
| 宮城県 | 4  | 新潟県  | 31 | 岡山県  | 54 |
| 秋田県 | 7  | 福井県  | 32 | 広島県  | 55 |
| 山形県 | 7  | 長野県  | 33 | 愛媛県  | 57 |
| 福島県 | 8  | 静岡県  | 37 | 佐賀県  | 60 |
| 茨城県 | 9  | 愛知県  | 39 | 宮崎県  | 61 |
| 栃木県 | 10 | 滋賀県  | 40 | 鹿児島県 | 61 |
| 群馬県 | 11 | 京都府  | 41 | 沖縄県  | 62 |
| 埼玉県 | 12 | 大阪府  | 46 | 寄贈図書 | 63 |
| 千葉県 | 13 | 兵庫県  | 49 |      |    |

### 北海道

#### ◆アイヌ語地名研究

アイヌ語地名研究会（発売：北海道出版企画センター）

〒001-0017札幌市北区北十七条西1丁目1-1 コーポ望 FAX011-728-6400

年5000円 1998年創刊

◇26 2023.12 B5 220p 1700円

巻頭言 二人の巨星を失って

知里真志保の『アイヌ語入門』から

道央・道北のタブコブを巡る

由仁町のタブコブを巡る議論を概観する

夕張川筋アイヌ語地名を再検証する—解明は現地にあり

江戸期における北海道以北の地図を読む(3)

藤村 久和

山下 栄光

中野 良宣

中野 良宣

岡本 武雄

大竹進／葛野大喜／花輪陽平／藤村久和

## アイヌ語地名研究会の行事と活動

第26回アイヌ語地名研究会大会 研究発表1「宝暦期(1750年代)の古地図に残されたアイヌ語地名(1)伊別」中野克良氏、研究発表2「空知管内のタブコブに関する調査」山下栄光氏、講話「どうぞ、田中妙子の先祖の話を聞いてください。」田中妙子氏、公演「アイヌ民族の歌謡―沙流川流域を中心に」川上さやか氏、研究発表3「アイヌ語樺太方言の言語的特徴」阪口諒氏、研究発表4「タブコブの形態―双頭説からのアプローチと所在に対する考察」中野良宣氏

報告・高橋和男

「飛騨屋石狩山伐木図」(1750年代)に残されたアイヌ語地名

|                                    |                                        |
|------------------------------------|----------------------------------------|
| 伊別(=江別)                            | 中野 克良                                  |
| 空知管内のタブコブに関する調査                    | 山下 栄光                                  |
| アイヌ語樺太方言の言語的特徴                     | 阪口 諒                                   |
| タブコブの形態―双頭説からのアプローチと所在に対する考察       | 中野 良宣                                  |
| 2023年度アイヌ語地名探訪報告―白老町ウポボイ(民族共生象徴空間) |                                        |
| とアイヌ語地名を巡るフィールドワークについて             | 高橋 慎                                   |
| アイヌ語勉強会                            | 高橋 和男                                  |
| アイヌ文化を読む会                          | 佐賀 彩美                                  |
| アイヌ語地名を調べる会                        | 土井 勝典                                  |
| 藤村先生との「古文書部会」                      | トーキル・クリステンセン／澤田敏明<br>小路雅史／上野繁／鎌田洋／吉成秀夫 |

## ◆文化情報 北海道文化財保護協会

〒060-0002札幌市中央区北二条西7丁目 かでる2・7ビル9階

Tel.011-271-4220 <https://hokkaido-bunkazai.jp>

◇397 2024.1 A4 10p

街中の祠 女夫龍神 女夫龍神の正月飾り(2023) 舟山 直治

第59回北海道文化財保護功労賞 受賞を契機に飛躍を期待

地域団結力の証として 軽舞熱送り保存会／引継ぎ、受け渡す 大  
注連縄保存同志会／未来へつなぐ伝承のバトン 厚岸かぐら同好会

道外文化財めぐり 札幌を創った島義勇を佐賀に訪ねて 鹿又 孝子

国宝・函館市著保内野遺跡出土の中空土偶 野村 崇

シリーズ 伝える北海道遺産 北海道の簡易鉄道

次世代に伝える開拓遺産としての鉄路 石川 孝織

第65回北海道・東北ブロック民俗芸能大会 道内では9年ぶりの開催

出演者と観客一体に 菊地 梢

第2回文化財講演会 北海道庁旧本庁舎(赤れんが庁舎)を解剖する 羽深 久夫  
MUSEUM ひろば 開拓の祖 寛斎の偉業をたたえる顕彰会

陸別町 関寛斎資料館

北村 正利

天然記念物指定に答申 西別湿原ヤチカンバ群落〔別海町〕／登録有形文化財(建造物)4件を答申／道文化財に2件を指定 無形文化財(風俗習慣)木古内町「佐女川神社寒中みそぎ神事」、有形文化財(考古資料)上ノ国町「勝山館跡宮ノ沢右岸出土品」

◆北方民族博物館だより 北海道立北方民族博物館

〒093-0042網走市潮見309-1 TEL0152-45-3888 1991年創刊

<https://hoppohm.org>

◇130 2023.09 A4 6p

第38回特別展 北方民族の編むと織る

笹倉いる美

講演会 世界のカゴ 講師：伊藤朝子

笹倉いる美

講座 草木染の世界 講師：山崎和樹氏

笹倉いる美

移動展「「暖かい」だけじゃない！ 毛皮と北方民族の多彩な関係」

共催：斜里町立知床博物館・国立アイヌ民族博物館・ArCSⅡ(北極

域研究加速プロジェクト)沿岸環境課題

中田 篤

ロビー展「モンゴル・遊牧世界の小道具たち」

中田 篤

ロビー展関連講座 モンゴル民話から見る遊牧世界

講師：西村幹也氏

中田 篤

◇131 2023.12 A4 8p

第37回北方民族文化シンポジウム 網走 北方諸民族文化とジェンダー

ー2 第1部 北アメリカの事例 「20世紀初頭米国における先

住民女性の政治力：オナイダ族女性の取り組みを例に」(地村みゆ

き氏)、「アメリカ都市先住民のジェンダーとセクシュアリティ：ア

メリカ先住民の都市化と女性・トゥースピリットの経緯について」

(大野あずさ氏)／第2部 ロシアの事例 「我々は我々がすべきこ

とをする」：ロシア・ヤクーチア西部のエベンキ共同体における資

源採掘、労働とジェンダー」(ガリーナ ベロリュブスカヤ氏)、

「先住民女性のエンパワーメント：ロシア・サハリン島のニプフの

事例から」(ウラジスラワ ウラジミロワ氏)／第3部 モンゴルの

事例 「モンゴル国カザフ人社会におけるジェンダーの形成と社会

的役割」(廣田千恵子氏)、「ジェンダーの視点からモンゴル文学を

読む：近現代小説の中の〈女性像〉を中心に」(阿比留美帆氏)／第

4部 アイヌの事例 「アイヌの英雄詞曲に見る女性像について」

- (林姝彦氏)、「アイヌの人々が語る差別とジェンダー—アイヌ女性  
と知人女性の“生活世界”に注目して」(佐々木千夏氏) 中田 篤
- ロビー展 写真で振り返る日本のアラスカ調査3 主催：北海道立北  
方民族博物館 共催：北極域研究加速プロジェクト ArCSⅡ社会文  
化課題 野口 泰弥
- 講座 アラスカ・ネルソン島の調査から 講師：岡田淳子氏 野口 泰弥
- ロビー展 北海道立北方民族博物館・東京文化財研究所共同研究展  
文化財写真—北方民族の文化多様性を伝える 主催：北海道立北方  
民族博物館 協力：東京文化財研究所 笹倉いる美
- 研修会 学芸員のための文化財写真研修会  
講師：江村知子氏・城野誠治氏・笹倉いる美 笹倉いる美
- 講座 ユネスコ世界遺産「北海道・北東北の縄文遺跡群」と北海道の  
縄文文化碑 講師：村本周三氏 笹倉いる美
- 講座 北海道博物館紀行 美幌博物館 講師：城坂結実氏 笹倉いる美

## 青 森 県

### ◆弘前大学国史研究 弘前大学国史研究会

〒036-8560弘前市文京町1 弘前大学教育学部日本史研究室内 1956年創刊

◇155 2023.12 B5 84p

- 弘前博覧会と青森の近代化—その出品物を中心に 上條 信彦
- 近代青森県を描いた吉田初三郎と今純三
- 二人が描きたかったものは何か 中園 美穂
- 大石武学流発祥についての一考察 小石川 透
- 弘前藩における葡萄酒の醸造について
- 「国日記」に見える最古の記録 福井 敏隆
- 二枚の絵は誰が描いたのか
- 青森開港及開市二百八十年祝賀会記念「青森市全図」 工藤 大輔
- 書 評
- 兼平賢治著『〈家からみる江戸大名〉南部家—盛岡藩』 大藤 修
- 浪川健治著『「時疫」の社会史—18～19世紀の病と人間』 平野 哲也

## 宮 城 県

### ◆国史談話会雑誌 東北大学国史談話会

〒980-8576仙台市青葉区川内27-1 東北大学大学院文学研究科日本史研究室

気付 TEL022-795-6064 1957年創刊

<https://www2.sal.tohoku.ac.jp/nihonshi/danwakai/danwa-index.htm>

◇64 2023.12 A5 132p

日本史研究室創設100周年記念

特集「史料を読み、継ぐ―次の100年後にむけて―」

類聚三代格―史料学的研究の概要と新たなテキスト作り

熊谷 公男

鬼柳文書

高橋 和孝

仙台諸家文書

籠橋 俊光

戦前期官立教育機関史料群―大学アーカイブにおける旧制第二高等

学校・仙台医学専門学校史料等の保存と公開

加藤 諭

弘仁四年のエミシ反乱・征討と戦後処理

大堀 秀人

歴史通信 東北学院史資料センター

伊藤 大介

紹介

兼平賢治著『家からみる江戸大名 南部家 盛岡藩』

塚本 杏奈

平川新著『〈伊達騒動〉の真相』

鈴木 詩織

安達宏昭著『大東亜共栄圏 帝国日本のアジア支配構想』

佐藤 光

2023年度国史談話会大会記事

研究発表要旨

日唐按察使制度の比較研究

劉 明達

大島正隆「海上の神火」の成り立ち

柳原 敏昭

仙台藩における孝子褒賞・孝子伝編纂の意義

鈴木 詩織

西南戦争における臨時巡查―福島県「士族」を中心に

谷川 朋史

講演 歴史のなかに 神戸大学大学院経済学研究科教授 綿貫友子

／日本史研究室と私一院政として、教員として 東北大学名誉教

授 大藤修

2023年度国史談話会大会記事 総会／近況報告会

研究室ノート

古代史研究会

阿部 葉央

中世史研究会

住吉 陽太

近世史研究会

宮坂 和弥

近現代史研究会

佐藤 光

◆ナジェージダ(希望) 石巻若宮丸漂流民の会

〒236-0052横浜市金沢区富岡西2-21-23 大島幹雄方 TEL045-773-4643

<http://deracine.fool.jp/wakamiya/>

◇51 (vol.22) 2024.2 A4 36p

特集 善六来函210周年記念 1 Dayツアー

- 「通訳キセリョフ善六は何故函館にやってきたか」 大島 幹雄  
函館での善六来函210周年記念イベントを無事終えて 倉田 有佳  
講演録「魯西亜から来た日本人善六とはこだて」 大島 幹雄  
ツアー参加者から 善六の函館を巡る 久野 義文  
「善六来函210年記念ワンデーツアー」参加記 藤本和貴夫  
会員近況 私とナジェージダ 石川 宏治  
寄稿「吉村文学にみる善六」 大島 幹雄  
吉村文学にみる善六 深見 美希  
ロシアの南下政策と仙台藩の蝦夷地警備  
一白老仙台藩元陣屋資料館・元陣屋跡を訪ねて 本村 成忠  
書籍紹介 平川新・竹原万雄共編『江戸時代の漂流記と漂流民一漂流  
年表と漂流記目録一』  
編者から 平川 新  
『江戸時代の漂流記と漂流民一漂流年表と漂流記目録一』について 小林 郁  
日本絵画史の本に出てくる漂流記一漂流記は漂流記を真似る 佐藤三寿夫  
まるで若宮丸に乗っているような気持ち！  
一課外授業3（稲井中・牡鹿中）に取り組んで 齋藤 博  
書籍紹介  
ちくま選書264『南北戦争を戦った日本人一幕末の環太平洋移民史』  
（菅（七戸）美弥・北村新三、筑摩書房） 大島 幹雄  
『異国人たちの江戸時代』（森田健司、作品社）

◆歴史 東北史学会

〒980-0862仙台市青葉区川内 東北大学大学院文学研究科 日本史研究室

Tel.022-217-6064 年4000円 1949年創刊

<https://www2.sal.tohoku.ac.jp/nihonshi/t-shigakukai/>

◇141 2023.10 A5 132+28p

孫呉の対魏晋前線における都督区について

- 一軍事戦略との関係を焦点として 潘 宗悟  
九世紀奥郡騒乱の性質・展開とエミシ政策 大堀 秀人  
一八世紀前半の領民・領主関係一仙台藩領の贈答をめぐる社会状況 高橋 陽一  
大政翼賛会憲法違反論争における自由主義派代議士の研究  
一川崎克と尾崎行雄を中心に 高島 笙  
都市文化のアイデンティティーに関する歴史考古学的考察  
一ローマのポメリウム境界線の儀式を中心に ジェルマナ・グレコ

書 評

松本宣郎著『初期キリスト教の世界』 大谷 哲  
横山昭男著『近世最上川水運と西廻航路一幕藩領における廻米輸送  
の研究』 渡辺 英夫

秋 田 県

◆菅江真澄研究 菅江真澄研究会

〒011-0909秋田市寺内児桜1-5-55 古四王神社社務所内 TEL018-845-0333  
1981年創刊 <http://www.masumiken.com>

◇101 2023.12 B5 20p

地誌に読み仮名を付ける 松山 修  
真澄の一枚(33) そぶ塚  
『粉本稿』より(大館市立栗盛記念図書館提供) 菊地 利雄  
図書紹介

中原文彦著『信州洗馬文化史シリーズ② 医は仁術一本洗馬村熊谷  
家六代の系譜』 石井 正己  
稲雄次編著『菅江真澄事典』

真澄短信 秋の叙勲 熊谷暁氏、山田博康氏が受賞／秋田県文化功労  
者に森本彌吉氏／特別講演会「菅江真澄と二ツ井」開催／男鹿市菅  
江真澄研究会設立三十年記念行事開催／フランス人の菅江真澄研究  
者、ローラ・アニエルさん来秋

令和五年度・菅江真澄研究会学習会企画「真澄の地誌を読む」につい  
て 金児 絃征

山 形 県

◆山形県地域史研究 山形県地域史研究協議会

〒991-8501寒河江市大字西根字石川西355 村山総合支庁西村山地域振興局  
総務部高等教育政策・学事文書課分室 県史資料室内 TEL0237-83-1215  
年2000円

◇48 2024.2 A5 99p 1000円

第四十八回研究大会

講演 東根市薬師寺・木造薬師如来坐像および沢渡観音堂・木造十  
一面観音立像を中心とした山形県の仏像について 長坂 一郎  
第一分科会

|                              |       |
|------------------------------|-------|
| 八反遺跡の発掘調査と成果について             | 高桑 登  |
| 八反遺跡と北方世界                    | 阿部 明彦 |
| 東根市の改造板碑と再利用                 | 加藤 和徳 |
| 第二分科会                        |       |
| 正保城絵図と最上東根城                  | 石井 浩幸 |
| 最上川舟運と大石田河岸―「請負差配」から「直差配」へ   | 小山 義雄 |
| 最上川流域における紅花栽培の実相             | 鈴木 勲  |
| 第三分科会                        |       |
| ブックレットシリーズ『村山市の地理と歴史』        |       |
| 一市民と市史をつなぐ試み                 | 菊地 立  |
| 尾花沢市での文化財保護活動―資料の収集・保存・整理の実態 | 大類 誠  |
| 若宮八幡神社の太々神楽の地域歴史性            | 菊地 和博 |
| 第四十八回総会・研究大会の概要              |       |
| 川崎利夫先生を偲ぶ                    | 佐藤 庄一 |

## 福 島 県

### ◆フークトープ通信 フークトープ通信社

〒960-8021福島市霞町9-38 シュタースティエ102室 山田英明方  
2015年創刊

#### ◇57 2024.1 A4 2p

地域医療体制確立の先駆者 三浦省軒医学士  
フークトープ紀行(57) なこそ関(いわき市)

高橋 信一  
あべ和かこ

### ◆文字摺通信 ふくしまの歴史と文化財

〒960-8204福島市岡部字東町35-6 守谷早苗

#### ◇55 2024.1 A4 8p

《お正月特大号》

福島の土台を築いた蚕糸業の隆盛を示す数少ない史跡

福島大学附属小学校の「福島支場の跡」碑について

福島市内の寺院の“山号”・“院号”・“寺号”とご本尊

福島市の寺院(宗派・山号・院号・寺号・本尊) 『福島市寺院銘鑑』

水原の真言宗豊山派水原山龍積寺で見ました

これは珍しい！半跏の地藏菩薩像

石仏・石塔・石碑を訪ねる(4) 水原字不動前 線刻三十三観音摩

#### ◇56 2024.1 A4 8p

35年ぶりに踊りました！ 飯館村比曽の田植踊り、記録作成で  
旧家訪問 水原字金入道内の丹野さん宅を訪問してきました  
石垣・土堀とイグネに囲まれた1町屋敷

◇57 2024.2 A4 6p

地方・地域が壊れていく：消滅する商店街  
わが岡部も店がなくなっています

中条(なかじょう)政恒と中條(ちゅうじょう)精一郎

◇58 2024.2 A4 4p

月待ち講について 勢至菩薩(23夜)と如意輪観音(19・21・22夜)  
この直線の境界線はまるで欧米のアフリカ分割地図

福島市東・西・南・北中央地区の字界図  
地方・地域が壊れていく(2) 減少するバス路線

◇59 2024.3 A4 4p

童謡・わらべ唄：福島県女性史の一断面  
はないちもんめ、たつと申す女八歳に罷り成り候

## 茨 城 県

### ◆近代史料研究 日本近代史研究会

〒305-8571つくば市天王台1-1-1 筑波大学歴史人類学系 中野目研究室内  
TEL029-853-4066 2001年創刊

◇23 2023.10 A5 79p

「蘇峰会所蔵資料」の構造と伝来—整理作業の速報として

中野目徹・田中友香理・山本佑麻

小中村清矩『広島趨会記』(第七回臨時帝国議會出席日記)の紹介

—旅日記執筆の意味の検討にむけて

大沼 宜規

河合栄治郎研究における「河合文庫」の位置

—阿部次郎『人格主義』の受容を中心として

工藤 弦

座談会—研究会発足の頃をふり返る 中野目徹・熊本史雄・大沼宜規・水谷悟  
／司会 長尾宗典・田中友香理

### ◆飛耳長目 長久保赤水顕彰会会報

〒318-0103高萩市大能341 佐川春久方 年3000円  
<http://nagakubosekisui.org>

◇34 2024.2 A4 4p

「赤水図」が海城中学高等学校の入試問題に登場

栃 木 県

◆歴史と文化 栃木県歴史文化研究会

〒320-0865宇都宮市睦町2-2 栃木県立博物館内 TEL028-634-1313  
年4000円 1992年創刊

◇32 2023.8 A4 87p 2000円

とちぎの「ひと」コマ

「栃木県管下全圖」(明治9年、栃木県立博物館蔵)

下田 太郎

巻頭言 もう一度

江田 郁夫

大会関連論考

『栃木の流行り病 伝染病 感染症』を編集・執筆して

大嶽 浩良

天正十四年紀収納箱に入る麻本版画左剣梵字不動明王像について

一新出・足尾地域の中世資料より

千田 孝明

関東惣無事と家康・広照

―「由良・長尾兄弟御身上之儀」をめぐる

江田 郁夫

芸妓たちの野球チーム―鹿沼町における花街の形成と発展

野中 富弘

史料紹介

どこの誰の声が残っているのか?―江口渙旧蔵資料をめぐる

下田 太郎

『三重県史』所収「足利義弘仏舎利奉請状」について

稲川 裕己

書評 市村高男著『足利成氏の生涯 鎌倉府から古河府へ』

鴨志田智啓

歴史随想 モノをよく見るということ

原田 敏行

活動記録 栃木県歴史文化研究会活動の記録(令和4年7月～令和5年6

月の研究発表・活動の記録) 第31回大会(江田郁夫記)／下野中・

近世史セミナー 第18回(江田郁夫記)／下野近世史研究会 第一回

分限帳にみる近世大名家臣団の形成過程―宇都宮戸田家を事例と

して 富金原拓馬(平野哲也記)

各種情報欄 文献情報(図書一覧・研究論文一覧)／令和四年度栃木県

内発掘調査情報／令和四年度新規指定文化財一覧

◆歴文だより 栃木県歴史文化研究会会報

〒320-0865宇都宮市睦町2-2 栃木県立博物館内 TEL028-634-1313  
年4000円 1991年創刊

◇129 2023.11 A4 4p

《特集 第三二回大会報告》

- 大会を振り返って 篠崎 茂雄  
第三二回大会参加記 作間 亮哉  
新刊紹介  
宇都宮市大谷石文化推進協議会編『大谷石文化への誘い—その歴史  
と魅力を探る—』 佐藤 光弘  
荒川善夫著『下野の中世社会 現代との比較で知るその特質』 鴨志田智啓  
今が旬！館・展示・講座情報  
那須塩原市那須野が原博物館 令和五年度特別展「那須塩原風景画  
譚」 渡邊 泉  
小山市立博物館 開館四〇周年記念第七九回企画展「MEMORY  
& MUSEUM —その記憶、どう残す？—」 石川 雄也  
◇130 2024.1 A4 4p  
《特集 登録有形文化財建造物の保存・活用》  
新常任委員長就任挨拶 篠崎 茂雄  
空間は思いの翻訳装置／私と歴史的建造物調査 渡邊 貴明  
今が旬！館・展示・講座情報  
小山市立車屋美術館—文化財を活用した美術館の現在 山田 淳子  
国登録有形文化財「山縣有朋記念館別館」の紹介 津野田陽介  
鹿沼まるごと博物館 第九回企画展『鹿沼城』 川上日菜子  
大嶽浩良氏、県文化功労者に

## 群馬県

### ◆群馬地名だより 群馬地名研究会

〒379-2144前橋市下川町6-16 井野修二方 TEL027-265-3859 1989年創刊

◇104 2024.1 B5 8p

- 出水と『井』地名 澤口 宏  
伊能忠敬の前に日本地図を作った長久保赤水 井野 修二

### ◆群馬文化 群馬県地域文化研究協議会

〒372-0831伊勢崎市山王町38-38 前澤和之方 年4000円 1957年創刊

<https://gunmabunka.org/wp/>

◇350 2023.12 A5 89p

《令和五年度総会・地域研究会(玉村町)特集

往古から人びとが行き交う地『玉村』での文化財の今とこれから》

総会・地域研究会報告 令和五年度群馬県地域文化研究協議会総会・

|                                   |           |
|-----------------------------------|-----------|
| 地域研究会(於玉村町)の開催                    | 編集委員会     |
| 記念講演 歴史的建造物の継承に向けて                |           |
| 一群馬県における保存活用の現状と課題                | 村田 敬一     |
| 研究報告                              |           |
| 伊勢崎市西之宮遺跡の古墳群―利根川沿岸の発掘調査成果        | 川口 亮      |
| 玉村町における文化財の保存と継承                  | 中島 直樹     |
| 岩松氏と横瀬氏―金山城における確執と共存              | 久保田順一     |
| 「めいがん様」考                          | 磯部淳一／磯部淳史 |
| 群馬の歴史的建造物(9) 塩原家住宅(塩原蚕種)          | 長井 淳一     |
| 新刊紹介                              |           |
| 鰯魚の会特別学習記録『北国見聞記―天保十二年六月～九月―』     | 須藤 聡      |
| 口絵 高塚古墳出土の武人埴輪―群馬県立歴史博物館蔵品資料(151) |           |
|                                   | 深澤 敦仁     |

## 埼 玉 県

### ◆埼玉地方史 埼玉県地方史研究会

〒330-0055 さいたま市浦和区東高砂11-1 さいたま市市民活動サポートセンター メールボックスB13 年3000円 1975年創刊  
<https://saitama-chihoshi1952.blogspot.com>

### ◇88 2023.12 A5 66p

#### 特集 近代皇室と埼玉

御鷹場から御猟場へ

|                              |       |
|------------------------------|-------|
| ―捉飼場・江戸川筋御猟場における鳥猟をめぐって      | 榎本 博  |
| 坂戸世直し世界の展開と崩壊―武州世直し一揆の地域論(2) | 角田 望  |
| 近世後期における農民女性の金融活動            |       |
| ―武州埼玉郡粕壁宿「てつ」の事例を中心に         | 青木美智子 |
| 新刊紹介 田代脩著『中世後期の領主と民衆』        | 有元 修一 |
| 動向 埼玉中世史料研究会と田代先生            | 新井 浩文 |
| 訃報 武井尚氏のご逝去を悼む               | 重田 正夫 |
| 埼玉県地域研究発表会要旨                 |       |
| 戦国期における医家と地域権力―糟尾氏関係資料を中心に   | 青木 裕美 |
| 八潮の“御一新”―小菅県と濱野弥右衛門          | 柴田 愛  |
| 2023年度総会報告                   |       |

## 千 葉 県

### ◆我孫子市史研究センター会報

〒270-1152我孫子市寿1-3-12 荒井方 TEL04-7182-2838

<http://abikosisiken.main.jp>

#### ◇259 (通566) 2024.1 A4 16p

新年のごあいさつ 岡本 和男

アビスタ・ストリート展示、12日間実施、好評!! / 市史研部会の紹介

歴史探訪部会 12月の活動報告 探訪「我孫子市内の歴史遺産を巡る

—その4」

長谷川秀也

12月例会「我孫子市内の歴史遺産を巡る—その4」に参加して

奥 亜由美

古文書解読火曜部会 11月の活動報告

布施村後藤家文書「川岸場一件扣書」(P27～32)

金成 典知

古文書解読日曜部会 12月の活動報告 「根戸村文久3年(1863年)御

用留」 当番：鈴木江里子会員・都通憲三朗

都通憲三朗

歴史部会 11月の活動報告

逆井萬吉会員『薬学博士 秋谷七郎』

逆井 萬吉

古代・中世史部会 12月活動報告 『将門記』を読む(第3回)

中臺卓夫会員・中嶋正義会員

宗岡 恒雄

「我孫子市史を読む」12月度活動報告

『我孫子市史近世編』ダイジェスト版、下総台地の開発—小金牧、

『我孫子市史研究11号』、領主の支配と農村社会：領主の村落支配 萩原 正美

井上家文書研究会 12月の活動報告

No.975 寛政7年卯8月御廻状写留

品田 制子

訃報 相津勝さん 追悼文

金成典知／加藤直道

#### ◇260 (通567) 2024.1 A4 14p

市史研創立50周年記念事業に向けて「50周年実行委員会」が発足

書籍の寄贈 たけしま出版より『松戸の江戸時代を知る② 城跡の村

の江戸時代』寄贈

古文書解読火曜部会 12月の活動報告

布施村後藤家文書「河岸場一件扣書」(P33～38)

新名 克子

「我孫子市史を読む」1月度活動報告

『我孫子市史近世編』ダイジェスト版 54～65頁

萩原 正美

古代・中世史部会 1月活動報告 『将門記』を読む(第4回)

担当者：金古尚会員・東日出夫会員

金古 尚

井上家文書研究会 1月の活動報告

|                                |       |
|--------------------------------|-------|
| No975 寛政7年卯8月御廻状写留(分冊1)        | 岡本 和男 |
| 松本守さんの計報に接して                   | 部会員一同 |
| 古文書解読日曜部会 1月の活動報告              |       |
| 「御用留」(文久3年亥正月) No161根戸 川村一夫家文書 | 白神 正光 |
| 一通の金町・松戸関所「女手形」読み解く            | 清水千賀子 |
| 計報 原田慶子さんを悼む                   | 中澤 雅夫 |
| 計報 博識、多才な原田慶子さん、ありがとうございました    | 近江 礼子 |

# ◆史談八千代 八千代市郷土歴史研究会

〒276-0032八千代市八千代台東4-8-7 田中巖方 TEL047-485-5623

年3000円 1976年創刊

◇48 2023.12 B5 135p

《創立50周年記念／

特集 旧村佐山の総合研究 そのⅡ・旧村真木野の総合研究 そのⅠ》

巻頭グラビア 写真で見る50年の活動記録

創立50周年記念関連

八千代市郷土歴史研究会創立50周年祝辞

服部 友則

発刊にあたって

田中 巖

八千代市郷土歴史研究会の思い出

巖 由美

八千代市郷土歴史研究会の50年のあゆみとトピックス

特集 旧村佐山の総合研究 そのⅡ

佐山の教育者 花澤與兵衛と與兵衛に繋がる人々

菅原 賢男

佐山の民俗 再開された佐山の獅子舞

鈴木 康彦

佐山の民俗 馬はいなくとも伝統はつなぐ「佐山の観音講」

三橋 俊一

特集 旧村真木野の総合研究 そのⅠ

真木野の概要

田中 巖

真木野の古代遺跡

田中 巖

真木野の近世 真木野村の領主 旗本石尾氏

青田 博之

真木野の近世 真木野村の反別・村高の推移と年貢

青田 博之

真木野の近代 真木野の教育者 山崎弥兵衛について

菅原 賢男

真木野の近代 千葉県天然痘対策の歴史

一山崎家に残る「明治12年・種痘済証」を拝見して

小林 詔三

日蓮宗 高誉山妙徳寺の歴史

青田 博之

真木野の石造物 真木野の庚申塔群と日蓮宗地域の庚申塔

巖 由美

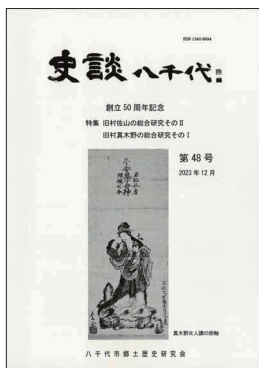
真木野の石造物 真木野の馬頭観音塔と民間信仰の石造物

巖 由美

真木野の民俗 真木野のオビシヤ

青田 博之

|                                 |       |
|---------------------------------|-------|
| 真木野の民俗 真木野の『庚申待縁記』              | 畠山 隆  |
| 真木野の民俗 真木野の女人信仰の資料              | 蕨 由美  |
| 神保氏と神保郷                         | 田中 巖  |
| 佐山・真木野などの板碑調査と八千代市日蓮宗地域の有刻板碑の集成 |       |
|                                 | 蕨 由美  |
| 高津の自衛隊演習場内「馬頭塚」の石造物             | 蕨 由美  |
| 成田山新勝寺の不動明王遷座考説                 | 山口 忠  |
| 歴史を楽しむ活動 歴史講演                   |       |
| 高津新田の歴史                         | 田中 巖  |
| 江戸時代の野生馬の群れと野馬除土手               | 畠山 隆  |
| 吉橋城と貞福寺の伝説                      | 青田 博之 |
| 吉橋大師講と開設者存秀法印について               | 菅原 賢男 |
| 歴史を楽しむ活動 歴史散策                   |       |
| 松戸の戸定邸と千葉大庭園を歩く                 | 山口 忠  |
| 小弓城と生実藩陣屋跡を歩く                   | 山口 忠  |
| 佐倉七福神めぐり                        | 三橋 俊一 |
| 高津新田を開発した人々とその信仰                | 瀬川 尚子 |
| 旧吉橋村の歴史散策                       | 山口 忠  |
| 我孫子宿と白樺派の文人を訪ねる                 | 山口 忠  |
| 2023年度(令和5年度)活動報告               |       |



＊八千代市郷土歴史研究会は、「郷土歴史の研究を行うことにより、各人の知的欲求に対し個人では得られない大きな効果を連帯によって生み出すこと及び会員相互の親睦を深めることを目的」（「会則」より）に、1973年に創立され50周年を迎えた。

機関誌『史談八千代』は1976年の創刊で、年刊を維持して今日に至っている。

機関誌とは別に1993年から連絡紙『郷土史研通信』も発行している。

1977年から勝田地域の総合研究を開始し、特にこの20年余は市内旧村の研究に取り組んでいる。また、『ふるさと再発見 八千代の道しるべ』(2001)の刊行、遺蹟や歴史事件の説明板設置など地道な活動を続けている。

研究会がこれからしたいこととして、次の5項目を掲げている。1) 市民共有の歴史資産を周知し、街おこしの起爆剤として活用を図りたい、2) 郷土に誇りを持つ市民を仲間とし、共に成長し、歴史文化の香る八千代市にしたい、3) 過去50年間の史談八千代を読み返し、それを生かした歴史散策や歴史講座を行ってゆく、4) 興味分野特化型会員募集!! 例:鉄の歴史を熱く学ぶコース、石造物を訪ねるコース、古代史跡を知るコース、神社仏閣を巡るコース等(千葉県ホームページ「地域づくり情報ひろば」 <https://www.pref.chiba.lg.jp/seisaku/chikizukuri/hiroba/hiroba291.html>より)。

高齢化や、コロナ禍の影響もあって会員の減少が進んでいるとのことであるが、個人の知的欲求を連帯によって大きな効果を生み出すという素晴らしい理念を、掲げ続けて欲しい。

#### ◆多輪免喜 佐倉地名研究会

〒285-0843佐倉市中志津6-21-13 田中正志方 TEL043-489-7439 年2000円

◇9 2023.5 B5 161p

《佐倉をもっと知ろう(中) 臼井・志津編》

刊行に寄せて

西田三十五

佐倉をもっと知ろう(臼井・志津編)発刊にあたって

田中 征志

大字・小字とは一大地に刻まれた歴史の語り部／本書を読まれる方に

Ⅳ 臼井 一 臼井のあらまし／二 臼井地区／三 臼井田地区／四

臼井台地区／五 江原・江原新田地区／六 角来地区／七 新街

名地区／八 地名余話 臼井編

V 志津 一 志津のあらまし／二 新しい町・街／三 先崎・青菅

地区／四 小竹・上座地区／五 井野・井野町地区／六 上志津・

上志津原地区／七 下志津・下志津原地区／八 地名余話 志津編

引用・参考文献／コラム リスト

地図 臼井地区概略図／志津地区概略図／千葉県印旛郡志津村概略図

#### ◆千葉史学 千葉歴史学会

〒263-0022千葉市稲毛区弥生町1-33 千葉大学文学部内 TEL043-251-1111

年4000円 1982年創刊 <http://chibareki.blog.fc2.com>

◇83 2023.11 A5 146p

|                                                                                                                                                                                                                        |       |
|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------|
| 巻頭随想 老の戯言一分権論と集権論の背景                                                                                                                                                                                                   | 市村 高男 |
| 歴史随想 歴史学は必要か？                                                                                                                                                                                                          | 山田 賢  |
| 歴史随想 加藤時男先生を偲ぶ                                                                                                                                                                                                         | 江澤 一樹 |
| 文治二年諸国勸進交名から見た古代・中世の房総<br>―「水落地蔵」納入品の分析から                                                                                                                                                                              | 川尻 秋生 |
| 小弓公方足利義明の関宿城攻めに関する考察                                                                                                                                                                                                   | 遠山 成一 |
| 後北条氏家臣近藤氏に関する一考察―特に近藤万栄を中心として                                                                                                                                                                                          | 佐藤 博信 |
| 桐生悠々の「広義国防」観                                                                                                                                                                                                           | 鳥羽 厚郎 |
| 大会講演要旨<br>近世史料を読む視点―江戸新吉原遊郭研究を素材として                                                                                                                                                                                    | 横山百合子 |
| 書 評<br>渡辺尚志『近世の村と百姓』                                                                                                                                                                                                   | 尾崎 真理 |
| 小田原近世史研究会編『近世地域史研究の模索 「つながり」の視点<br>から』                                                                                                                                                                                 | 近藤 絢音 |
| 宮間純一編『公文書管理法時代の自治体と文書管理』                                                                                                                                                                                               | 高村 恵美 |
| 新刊紹介 須田紘編『社会変容と民衆暴力 人びとはなぜそれを選び、<br>いかに語られたのか』                                                                                                                                                                         | 外山 信司 |
| 見学記 千葉県立郷土博物館 企画展「商人たちの選択―千葉を生き<br>た商家の近世・近現代―」                                                                                                                                                                        | 石井 七海 |
| 例会報告<br>中世史部会 2023年4月例会 遠山成一「小弓公方足利義明の関宿<br>城攻めに関する一考察」                                                                                                                                                                |       |
| 近世史部会 2023年2月例会 藤方博之「天保～元治期の佐倉藩堀<br>田家における家臣団編成改変への模索」、討論要旨／2023年5月例<br>会(大会準備報告会) 岩本和恵「文化・文政期の生実藩領におけ<br>る領主と村の関係性―「仁政」のリアルを考えるために」／2023年<br>8月例会 岩本和恵「文化・文政期の生実藩領における領主と村<br>の関係性―「仁政」のリアルを考えるために」、五月例会・八月例<br>会討論要旨 |       |
| 近現代史部会 2023年9月例会 鳥塚義和「馬は戦場へ―日露戦争<br>時の東葛飾郡を例に」、討論要旨                                                                                                                                                                    |       |
| 総会・大会報告 千葉歴史学会第四一回総会・大会報告                                                                                                                                                                                              |       |

#### ◆房総石造文化財研究会会報

〒275-0001習志野市東習志野5-30-4-404 木原律子方 TEL047-473-3540  
年3000円 1980年創刊 <https://sites.google.com/view/bosekiken/>

◇148 2024.1 A4 8p

ごあいさつ

早川 正司

九月 石仏見学会参加記 白井の石仏をめぐる見学会に参加して

齋藤 典代

十月 見学会&勉強会参加記

佐倉の愛宕神社石仏と「歴博」の古碑を見る

田中 征志

十一月 石仏ゼミナール実施報告

## 東京都

### ◆あしなか 山村民俗の会

〒330-0854さいたま市大宮区桜木町4-201-2 塩野谷明夫方 TEL048-465-7818

年5000円 1939年創刊

◇329 2024.2 B5 18p

表紙解説 岩角山岩角寺の「角大師」絵札（福島県本宮市）

関 啓司

宮崎県の俗信と今―「民俗記録」という視点

矢口 裕康

奥武蔵・奥多摩の「黒指」―「サス」地名を訪ねて(2)

荒井 俊昭

『丸石』資料の追加

関 啓司

山里だより(38) 丹波美山の山里歳時記―春から冬へ・続編

西浦 左門

### ◆あるむぜお 府中市郷土の森博物館

〒183-0026府中市南町6-32 TEL042-368-7921 1987年創刊

<http://www.fuchu-cpf.or.jp/museum/>

◇146 2023.12 A4 8p

表紙 武蔵野公園遺跡でみつかった縄文時代の土器（江戸東京たても  
の園所蔵・提供）

どんなもんだい？縄文時代 その3 市内初の縄文遺跡調査

石澤茉衣子

最近の発掘調査 江戸時代府中宿の鋳物工房跡 宮西町二丁目

野田憲一郎

NOTE 「府中町考古館」

石澤茉衣子

展示会案内 企画展「小学校でちょっとむかしのくらし」

荒 一能

series みち～道・路・通～(3) 鉄道の開通とみち

花木 知子

近代プラネタリウム誕生100周年！ プラネタリウムについて知ろう！

(3) どこで見る？プラネタリウムの座席

小林 善紹

### ◆板橋史談 板橋史談会

〒173-0015板橋区栄町24-12-203 井上富夫方 FAX03-3579-3178 年4000円

1966年創刊 <https://sites.google.com/view/itabashishidankai/home>

◇319 2024.2 B5 43p

表紙写真解説 かみなか庚申塔の初庚申（板橋区若木一丁目七番）

撮影日：2023年1月22日

写真と文・井上富夫

板橋区の文化財(4) 地藏信仰をめぐって

松崎 憲三

千葉玄参(自秀)私考(2)

井上 富夫

城への誘い別章(1) 鬼ノ城と古代山城

三原寿太郎

千の風になってーときわの杜編(2)

松浦 勉

◆江戸城かわら版 江戸城天守を再建する会

〒101-0065千代田西神田2-5-7-505 TEL03-6423-1882 <https://np0-edojo.org>

◇70 2024.1 A4 11p

大きな方向性と世論喚起で、天守再建への賛同は前進する 文・初鹿彰信

「江戸城アンバサダー」三名選抜。お城エキスポ2023から活動開始。 近藤 一郎

全国お城物語 福山城(広島県福山市) 講師 皿海弘樹、島原城(長

崎県島原市) 講師 吉岡慈文・末續理

黒田涼の江戸・東京歴史講座 家康と江戸城の災害遺構をたどる(2)

関東大震災(2) 二三区内に残る震災遺産の数々

黒田 涼

歴史に残る名城の天守(26) 徳川再建大坂城天守

三浦 正幸

「和の心」を紐解く(9) 「和の心」を身に付けるための作法(5)

お墓参りの作法(2)

土蔵 利生

◆北区史を考える会会報

〒114-0023北区滝野川3-43-10-301 有馬純雄方 TEL03-3917-8115 1986年創刊

◇150 2024.2 B5 8p

第42回定期総会

報告・林 健一

第474回 月例見学会

二つのジオラマが見どころの豊島区郷土資料館

林 健一

第475回 月例研究会

東京北区観光協会の考え方とその取組み 講師・杉山徳卓氏 報告・有馬純雄

第476回 月例研究会 法人選挙権

黒川 徳男

滝野川かぶ品評会開催

有馬 純雄

◆国史学 国史学会

〒150-8440渋谷区東4-10-28 国學院大學史学科気付 TEL03-5466-0246

年4000円 <https://www2.kokugakuin.ac.jp/kokushi/>

◇240 2023.12 A5 164p

|                                       |               |
|---------------------------------------|---------------|
| 戦国期朝廷の合議と禁裏小番・伝奏                      | 小堀 貴史         |
| 『島津家文書』伝来の一考察—黒漆塗箱収納文書の検討を通じて         | 村上 美樹         |
| 戦前期日本外務省における人事構造の変容                   |               |
| —人事、派閥研究再考の手がかりとして                    | 種稲 秀司         |
| 書評と紹介                                 |               |
| 畑尚子著『大奥御用商人とその一族—道具商山田屋の家伝より』         | 布川 寛大         |
| 笹生衛著『まつりと神々の古代』                       | 菊地 照夫         |
| 土田宏成・吉田律人・西村健編著『関東大水害—忘れられた一九一〇年の大災害』 | 木村 美幸         |
| 令和五年度大会報告要旨                           |               |
| 記念講演                                  |               |
| 近世山村史の可能性—上州山中領からの発信                  | 佐藤 孝之         |
| 明朝の成立と「日本国王」考—大西信行氏の批判に接して            | 村井 章介         |
| 第一部会 日本古代史                            |               |
| 日本古代の宮城中枢部の一側面—外交儀礼の視点から              | 吉田 敏          |
| 成立期の神社行幸について—京外行幸の観点から                | 佐藤 亮介         |
| 伴造層と交通                                | 中 大輔          |
| 第二部会 日本中世史                            |               |
| 中近世における披見後書状の保管伝来についての試論              |               |
| —佐竹文書を素材に                             | 金子 拓          |
| 戦国期駿遠の寺院と城館—戦国大名今川氏を中心に               | 高塚 真之         |
| 「手伝」考—織豊・徳川期の公儀普請の性格をめぐって             | 谷 徹也          |
| 第三部会 日本近世史                            |               |
| 関東取締出役の文書・組織・行政                       |               |
| —奈古記録と奈古菅七郎を中心に                       | 榎本 博          |
| —橋慶喜の政治行動と邸臣構成の一考察                    | 加藤 弘之         |
| 吉田松陰と近世後期朱子学者との交渉                     |               |
| —古賀侗庵・謹一郎父子との関係を中心に                   | 布川 寛大         |
| 第四部会 日本近現代史                           |               |
| 外務省の「メディア化」                           |               |
| —広報外交政策と外務省情報部 一九二一—一九二五年             | Liven, sommen |
| 政党内閣期における仏教系候補者の政党化                   | 出口 颯涼         |
| 日露戦争における従軍記者制度の一側面                    |               |
| —海上通信統制に着目して                          | 渡邊 桂子         |
| 令和五年度例会報告要旨 9月例会                      |               |
| シンポジウム「感情・儉約・制度の江戸時代—『令聞余響』の世界」       |               |

『令聞余響』にみる中川忠英の交際

井上 翼

近世後期における旗本家族と子弟教育—養子相続に注目して

松本日菜子

『令聞余響』にみる旗本の和歌

村上 瑞木

中川忠英が編んだ医療関連書

西留いずみ

◆史 叢 日本大学史学会

〒156-8550世田谷区桜上水3-25-40 日本大学文理学部史学研究室内

TEL03-3329-1151

◇109 2023.12 A5 41p

大会講演

スペイン勢力と「鎖国」—徳川家康のメキシコ貿易交渉を中心に

清水 有子

『政事要略』からみる位袍の黒と紫

柳 雄貴

新刊紹介 池田眞朗著『ボワソナード—「日本近代法の父」の殉教』

霜村 光寿

◆城郭史研究 日本城郭史学会（発売：東京堂出版）

〒174-8691板橋北郵便局私書箱50号 TEL03-3967-1948 年6000円

1968年創刊

◇42 2023.12 B5 138p 2700円

鹿児島城をめぐる

三木 靖

村上海賊と能島城の考察

池田 晶一

広島県東部地域の石垣等の石材属性について

—矢穴の規模、石垣勾配等から

山岡 渉

巨視的にみた江戸城石垣研究

—小池汪写真展・写真集「江戸城、石の故郷」から

野中 and 夫・橋本真紀男

鎌倉城に関する再考察—鎌倉時代前期の城構を中心に

大竹 正芳

調査報告 八乙女館跡測量調査報告

吉井 宏

碎玉類題 永禄二年信長上洛と城

岸田 盛秀

城郭史関係文献目録

阿部 和彦

令和4年度日本城郭史学会 活動報告

大橋 健一

受贈図書紹介

『城郭史研究』14号～41号の既刊目録

◆城郭だより 日本城郭史学会会報

〒174-8691板橋区板橋北郵便局私書箱50号 TEL03-3967-1948

年6000円 1993年創刊

◇124 2024.1 A4 6p

「難攻不落」の唐沢山城本丸初調査 「櫓門」の痕跡確認（東京新聞

群馬・栃木版 2023年10月22日記事より）

最近の城郭ニュースから 1 岐阜城 本年度の発掘調査開始／名古屋城 雁木出土／洲崎館跡 建物跡発見／丸亀城 来年度から石垣積み上げ作業開始／洲本城跡から鬼瓦や石畳出土

最近の城郭ニュースから 2 安土城 発掘調査開始／挙母城跡で遺跡発見／静岡県中央市で山城遺構か 徳川氏が築造可能性／金沢城二の丸御殿 欄間彫刻は「波に犀」

令和五年度秋季探訪旅行会「道南の城館探訪」 大橋 健一

各地の城郭研究会の活動から 日本古城友の会、和歌山城郭調査研究会、戦国と城を学ぶ会

日本城郭史学会活動から 十一月見学会 下野飛山城・壬生城見学会、十一月セミナー

最近の注目される城郭図書から 岡寺良・竹中克繁・吉本明弘編『九州の名城を歩く』佐賀・長崎県編、竹井英文・中澤克昭・新谷和之編『描かれた中世城郭 城絵図・屏風・絵巻物』、佐々木健策著『戦国期小田原城の正体』

#### ◆昭和12年研究 昭和12年学会

〒170-0003豊島区駒込1-41-15-408 岡田宮脇研究室内 TEL03-3941-6400  
年5000円 2021年創刊 <https://s12gakkai.wixsite.com/mysite/>

#### ◇1 2021.9 A5 199p

|                     |       |
|---------------------|-------|
| 昭和12年の宮澤俊義          | 倉山 満  |
| 正定事件研究—拉致実行犯と堂記の再考証 | 峯崎 恭輔 |
| 日本陸軍の戦争準備状況         | 樋口 恒晴 |
| 昭和12年と昭和切手          | 内藤 陽介 |
| 昭和12年のモンゴルと徳王       | 宮脇 淳子 |

大会・研究会記録 平成30年の活動／平成31年・令和元年の記録／令和2年の活動／令和3年の活動

#### ◇2・3 2023.8 A5 145p

特別講演

|                                 |       |
|---------------------------------|-------|
| 私の見る昭和十二年                       | 伊藤 隆  |
| 1937年のソ連—革命家・理論家スターリンと大粛清       | 福井 義高 |
| ウクライナで何が起きたか                    | 小泉 悠  |
| 工業の波と左右全体主義                     | 海上 知明 |
| フランス保守の代表者、シャルル・モーラス名著、『政治についての |       |

我が考察(Mes idées politiques)』を中心に ポール・ド・ラクビエ  
大会・研究会記録 令和3年の活動／令和4年度の活動／令和5年度  
の活動

◆西郊民俗 西郊民俗談話会

〒112-0005文京区水道2-3-15-403 小池淳一方 年2000円 1957年創刊  
<https://seikouminzoku.net>

◇265 2023.12 B5 21p

奥会津田子倉の皆川甚平旧蔵「狩の巻物」と修験

|                      |       |
|----------------------|-------|
| 一昭和十二年『熊狩雑記』所載の原本紹介  | 久野 俊彦 |
| 中山寺開帳の閻魔起請文一信ずるものは   | 福原 敏男 |
| 勢州白子観音寺の江戸出開帳とやすらぎ地蔵 | 林 京子  |

◆世田谷区誌研究会会報

〒158-0094世田谷区玉川3-30-5 野岸敏雄方 年2000円  
<https://setagaya-kushiken.jimdofree.com>

◇2024-1 2024.1 A4 6p

令和6年を迎えるにあたって 今年の目標／令和6年予定講演会・行  
事

野岸 敏雄

世田谷の民話(61) 森と田畑の烏山は子育ての里／烏山 地名の由来

作者・桜井正信／絵・柳原雅子

世田谷の民話(62) 御殿の抜け穴本尊屋敷を守る／功德庵

作者・桜井正信／絵・柳原雅子

◇2024-2 2024.2 A4 6p

能登半島地震について

東日本大震災の思い出 帰宅難民一歩手前

大田区郷土の会 小山一成(当時65歳)

世田谷区誌研究会関係者著書 高橋知明『ペリー提督は吉田松陰を絶  
賛していた』、宍野史和『運をつかむ心のほぐし方』

世田谷の民話(63) 茶屋坂で喜多見と足利の殿様ご対面／成城地区の  
坂

作者・桜井正信／絵・柳原雅子

世田谷の民話(64) 三角橋の蛇様 お宮にお引越し

作者・桜井正信／絵・柳原雅子

◆大道芸通信 日本大道芸・大道芸の会

〒157-0061世田谷区北烏山2-3-9-101 光田憲雄 TEL03-3307-2146

<https://daidougei.seesaa.net>

◇385 2023.12 A4 2p 100円

幻影器 『風俗画報 第九号』（明治22年10月10日発行）

女力士

◇386 2024.1 A4 2p 100円

春の生業 宝船（『風俗画報』第224号）

◇387 2024.2 A4 2p 100円

幕末明治の生業 小(大)原女と飴売り／甲斐国昆布売り／ホーカイ節

の門つけ／草履造りと古梔買い／飴売りとパン売り

亀の曲芸

#### ◆多摩地域史研究会会報

〒207-0033東大和市芋窪4-1735-1-103 梶原方 1991年創刊

FAX042-563-2896 <http://tamatiken.web.fc2.com>

◇158 2024.1 B5 32p

第117回例会報告

第117回例会参加記

上野さだ子

発表1 嘉永五年田無村方姓名書

近辻 喜一

発表2 御門訴事件と下田半兵衛一名主として、寄場惣代として 行田 健晃

#### ◆伝え 日本口承文芸学会

〒663-8184兵庫県西宮市鳴尾町1-2-18 武庫川女子大学教育学部 SE-401(高木

史人)研究室 TEL0798-31-0546 年4000円 1987年創刊 <https://ko-sho.org>

◇74 2024.2 B5 4p

翻訳の挑戦と文化的洞察：『ジャングル』英雄叙事詩の探究

藤井 真湖

第84回研究例会報告 シンポジウム「子どもに手渡す物語2ー今、「む

かしばなし」はどう認識されているかー」報告

中村とも子

特集 各地の語り・語り手・語りの場の紹介

古民家の炉端で聞く昔話ー野外博物館・日本民家園の期待

神田 朝美

#### ◆東京産業遺産学会 NEWSLETTER

〒174-0046東京都板橋区蓮根2-29-10 新蓮根団地105 多田統一方 FAX03-

3964-8548／〒352-0011埼玉県新座市野火止4-8-43 柚須紘一方 FAX048-479-

7490 年2000円 <https://tias3.web.fc2.com>

◇164 2024.1 A4 4p

12月10日講演会「ドイツの貨物鉄道輸送と操車場について」開催報告

物流博物館特別展「物流博物館特別展 汐留駅にみる貨物鉄道と通  
運のあゆみ」 久保 健  
新刊紹介 『ものづくり中部の革新者』 柚須 紘一  
12月理事会報告  
茨城県笠間市の赤煉瓦建築物(2) 「福原駅の危険品庫」 文・写真 八木司郎

#### ◆東京大空襲・戦災資料センターニュース

〒136-0073江東区北砂1-5-4 政治経済研究所 TEL03-5857-5631

年2000円 2002年創刊 <https://tokyo-sensai.net>

◇44 2024.2 A4 12p

巻頭言 吉田 裕

東京大空襲を語り継ぐつどい 東京大空襲・戦災資料センター開館22

周年／開館要項

企画展「東京の学童疎開」を開催しています！／イベント 99歳が語

る！ 疎開児童の寮母となって一柏木文代さんの戦争体験

「東京空襲犠牲者の名前を読み上げ、心に刻む集い・2024」を開催し

ます！／みんなの名前がありました 「東京空襲犠牲者の名前を読

み上げ、心に刻む集い・2024」実行委員会代表 河合節子さん

現在進めている主な取り組みの紹介 継承者育成プロジェクト／定例

イベント

夏休み特別企画を開催しました

常設展示「名前と顔写真の壁」の更新とギャラリートークのお知らせ

／屋根等改修工事終了のご報告

インターン生の活動成果と今後の展望／インターン終了後の感想 小

原さん、バーンズさん

空襲被害者救済法の成立を願って 河合節子さん／ボランティアガイ

ト、再び 鈴木美智子さん／訃報 藤間宏夫さん

#### ◆練馬郷土史研究会会報

〒179-0072練馬区光が丘5-2-3-806 鎌田茂男方 TEL03-3977-3091

年2000円 1956年創刊

◇391 2024.01 A4 4p

練馬城址と周辺寺社、カネボウ跡地を巡る歴史散歩(3) ⑭白山神社・

大ケヤキ(榎本武揚療養の地)／⑮阿弥陀寺／⑯谷戸集落跡／⑰カ

ネボウ練馬工場跡(=練馬文化センター・平成つつじ公園)

葛城 明彦

高札場 九月例会 武蔵関公園とその周辺の史跡めぐり／11月例会

東逗子から神武寺へ  
豊島氏関係資料を読み直す

豊島刑部少輔信満の刃傷事件とその背景(4)  
牧野富太郎と蒲池中平氏(2)

伊藤 一美  
トモタ 佳

◆東日本部落解放研究所ニュース

〒111-0024台東区今戸2-8-5 TEL03-5603-1863 1986年創刊

<http://www.hblri.org>

◇105 2023.12 A4 8p

第36回研究・交流集会を開催—4年ぶりのリアル開催に／第36回研究・交流集会 プログラム

地元報告「群馬の部落解放運動の現状と課題」 部落解放同盟群馬県連合会事務局長 深田広明さん／記念講演「群馬県水平社創立100年史の編集にかかわって—水平社運動・融和運動・戦後部落解放運動をめぐって—」 東日本部落解放研究所副理事長 吉田勉さん

文責・鳥山 洋

歴史分科会・報告 責任者：鳥山洋・横山陽子・松本勝

報告①「高崎の雪駄作り—映画『タケヤネの里』をめぐって」安田耕一さん／報告②「製糸産業と部落の女性たち—そして『水平社運動』」松本勝さん

文責・鳥山 洋

教育分科会・報告 責任者：石川享助・篠崎剛・松浦利貞

報告①「桐生市における外国につながる生徒の傾向と課題」栗栖博愛さん／報告②「学び続けること」千代山奈生子さん／報告③「せんせい、にほんにきて、よかった—外国のルーツの生徒との関わりから」長永孝弘さん／報告④「『今日はS高校の先輩は来んですか？—』千葉の高校生・青年が10年つなげてきた部落研活動」篠崎剛さん

文責・松浦利貞

◆民衆史研究 民衆史研究会

〒162-8644新宿区戸山1-24-1 早稲田大学文学学術院 藤野裕子研究室研究室  
気付 1962年創刊

◇106 2024.1 B5 74p 1750円

特集 日本の食文化史再考

特集にあたって

民衆史研究会委員会

古代肉食の諸問題—牛肉を中心に

有富 純也

魚食と肉食のあいだ—中澤克昭著『肉食の社会史』によせて

菊米 一志

近世後期から幕末期における蘭学者の西洋料理研究 上野 晶子  
書 評

熱田順著『中世後期の村落自治形成と権力』

一付・「惣国半済」の史料解釈 似鳥 雄一

鈴木正行著『民衆思想と社会科教育—社会的構想力を育む教育内容  
・方法開発—』

小川 輝光

学会記録 第六二回近世史サマーセミナーの記録

第六二回近世史サマーセミナー実行委員会

新刊紹介

本庄総子著『疫病の古代史—天災、人災、そして—』

関 美祐

小野雅章著『教育勅語と御真影—近代天皇制と教育』

五十嵐慧祐

研究紹介 韓国における日本史研究の動向について

—前近代史分野の「韓国型日本史研究」を中心に

安 芝賢

#### ◆民俗建築 日本民俗建築学会

〒162-0834新宿区北町18 TEL03-3260-3653 年9000円

<http://www.folkhouse.org>

◇164 2023.11 B5 94p

扉絵 スキャグウェイの民家 アメリカアラスカ州 2014年

桑野 進

巻頭言 北広島市の史跡旧島松駅通所について

角 幸博

2023年度大会発表研究論文

洲本城下「外町」(兵庫県洲本市)の歴史的町並み：

その形成と建造物の特徴

宇高雄志／上村信行

佐渡産釉薬瓦生産の足跡と増毛町「旧本間家」への伝世

—主に軒瓦文様に注目して

渡辺 一幸

東京府と新潟県にみる建物台帳の作成目的

—地方税制度および公証・登記制度に着目して

松村菖／竹本太郎

2023年度大会報告 一般社団法人日本民俗建築学会 第50回大会報告

池田 哲夫

民俗建築アーカイブ(25)

広島 木原家住宅の調査記録(その2 各部構法の詳細図)

古川 修文

研究会報告 厳島神社門前町 宮島の町並みと宮島町家の外観意匠 河村 明植

委員会活動情報 国指定重要文化財(建造物)の被災と復旧をめぐる覚

書—福島県伊達市「旧亀岡家住宅」を一例として

大山 孝正

2022年度一般社団法人日本民俗建築学会賞(竹内芳太郎賞・奨励賞)

竹内芳太郎賞 板橋春夫氏／奨励賞 稲益祐太氏

紙碑 故坂田泉先生を偲んで 永井 康雄  
 新刊紹介  
 石井翔太著『恣意と必然の建築 大江宏の作品と思想』 田口 和夫  
 岡秀一・高山高義・小川肇・梅本亨著『風よけの気候景観 暮らし  
 を守る屋敷林・防風林』 出口 清孝  
 渡邊義孝著『台湾日式建築紀行』 市村 康子  
 朴賛弼著『入門 建築環境設備』 大平 茂男  
 谷沢明著『日本の観光4—昭和初期観光パンフレットに見る《中国  
 ・四国・九州編》』 林 哲志  
 文献紹介 単行本・報告書・論文  
 会報 大会 第50回大会／2023年度シンポジウム・見学会 1日目シ  
 ンポジウム 奥能登の大型民家に見る文化とその意味／研究会／会  
 務担当会議

## 神奈川県

◆小田原史談 小田原史談会  
 〒250-0013小田原市南町4-1-24 松島方 TEL0465-23-8635  
 年3000円 1961年創刊 <http://odawara-shidan.hustle.ne.jp>  
 ◇276 2024.1 A4 32p  
 箱根甘酒茶屋の今昔話 話し手：山本聡さん 文責・青木良一  
 小田原史談会秋の史跡巡り  
 甲州街道(武蔵国西部、相模国)をバスで巡る 阿部美知子  
 小田原史談会セミナーレポート  
 「関東大震災から一〇〇年」小田原史談会の取り組み 星野 和子  
 史談再録・第二十七号(昭和39年より) 迎春漫筆 浅見 霊風  
 「村上欣の碑」に誘われて越後旅 大井 みち  
 スケッチ川柳 宍戸 忠夫  
 小田原市民会館大ホール壁画の謎(3)  
 —記憶展 vol.2 と修復の考え方について 深野 彰  
 小田原ご当地物語り 青物町(1)  
 染と織「丸京」と二つのお稲荷様 話し手：河合多美江さん 松島 俊樹  
 UMECO だより再録 2023年度連載こらむ Part6 記憶に残したい小  
 田原の近代人⑥「辻村常助」 小田原史談会 松島俊樹さん

◆かまくら女性史の会 Newsletter

〒248-0012鎌倉市御成町18-10 N P Oセンター鎌倉気付 メールボックス26

2013年創刊 <https://kanagawajoseishi.jimdofree.com>

◇112 2024.1 A4 2p

聞き書きとオーラル・ヒストリー

横松佐智子

シリーズ：私たちの「戦争体験」(37) 第13話「引揚を終えて」

阿部 光世

講演「戦中戦後の保育と鎌倉」

(多和田)

◇113 2024.2 A4 2p

かまくらの保育Ⅲ―戦後10年間

(横松)

◆県央史談 県央史談会

〒243-0033厚木市温水342 内藤佳康方 Tel046-247-1751 1961年創刊

<http://kenou.stars.me.jp>

◇63 2024.1 A5 44p

この地から海を渡った明治の民権派青年たち

―第5回「湘南社」自由民権資料展によせて

岩崎 稔

県立師範学校の修学旅行日記

千葉 弘

明治初期の地方行政機構の変遷について

橋川 明

令和五年度事業報告 総会・史跡めぐり

◆クロス 常民文化研究会

〒254-0016平塚市東八幡2-8-20 西海賢二 年1000円 1979年創刊

◇176 2024.2 B5 6p

資料紹介 続 鹿島踊りと青年会合宿日誌について

西海 賢二

◆首都研ネットワーク 首都圏形成史研究会

〒231-0021横浜市中区日本大通3 横浜開港資料館内(事務局:西村健)

Tel045-201-2169 年3000円 <http://shutokenshi.org>

◇100 2024.2 B5 4p

研究例会 第128回例会 池田真歩『首都の議会―近代移行期東京の政治秩序と都市改造』(東京大学出版会、2023年) 合評会/次回の研究例会 2024年度総会・第129回例会(予定) 清瀬市郷土博物館 特別展「清瀬駅開業100周年展示」関連シンポジウム

情報ネットワーク 展示会情報!

小研究会の活動状況 首都圏災害史研究会、戦後首都圏研究会

◆日本の石仏 日本石仏協会（発売：青娥書房）

〒254-0031平塚市天沼7-59-305 TEL0466-24-0203 年8000円

1977年創刊 <http://sekibutukyokai.jp>

◇181 2023.12 A5 92p

山上庚申道石標(表紙写真) 滋賀県甲賀市水口町牛飼 山下 立  
巻頭随想 雲南帰省行—中国西南部の石仏・石獣を眺める 川野 明正  
特集 標石

概説 中国南部の道標〈擋箭碑〉と産育信仰 川野 明正  
迷子しるべ石(上) 中森 勝之

資料紹介 小豆島霊場第五十三番札所・本覚寺の標石 村上 昭彦  
橋供養の変遷について—石橋供養塔への道筋 南川 光一

石造狛犬をめぐる二、三の問題点について 山下 立

奈良春日山・地獄谷石窟仏の現地調査結果 伊藤 義文

本邦石造物研究の歴史Ⅷ 八、昭和四十五年から五十二年まで 嘉津山 清

近畿地方の中世石幢(石幢探訪(3)) 高野 幸司

石仏入門(35)「日本石仏図典」補足・Ⅸ 門間 勇

日本狛犬史から見た石造狛犬(2) 山下 立

余白録 乳房のある如意輪観音像 門間 勇

会員の広場

人間が囚われている狛犬二題(上)—熊本県の鶯原菅原神社の「人喰  
い狛犬」と秋田県の朝熊神社狛犬 川野 明正

法長寺の聖観音像(口絵写真の説明) 堀 敏一

行田市清善寺の石仏スケッチ 梶田 道行

盛源寺の庚申塔 清水 亨桐

第44回石仏公開講座報告 第一講「江戸期の石工」小松光衛氏、第二  
講「私の歩んだ道と狛犬観」網川潔氏、第三講「石像・石仏を作る  
私」長岡和慶氏、第四講シンポジウム「石工再考—作り手が語る石  
仏・狛犬」コーディネーター・川野明正氏 中野 高通

訃報 本会理事・遠藤康子さん

第1369回 石仏一日見学会報告 醤油の町・野田町を巡る  
案内者：石田年子氏 参加者：13名 門間 勇

◆扣之帳 扣之帳刊行会

〒250-0021小田原市早川60 青木良一方 TEL0465-22-8852 年2500円

2003年創刊

◇81 2024.1 A5 124p 500円

横浜文学散歩(1) 北村透谷になりきって横浜の街を歩く  
 禅のみち(2)  
 小田原藩領羽根尾・酒匂・前川村の仕法  
 小説一幕末銀板写真倶楽部 ポトゲラヒ(13)  
 小峰山界隈「業務」散策〈幻想微片〉 著名人達の邸宅群  
 井ノ口の馬鉄と軽便の道  
 語り部の傍らとして  
 鉄斎の謎(7)  
 『関東大震災被害報告』(3)

戸田 博史  
 岸 達志  
 尾上 武  
 荒河 純  
 小濠 眞宝  
 青木 良一  
 芳賀喜久雄  
 茂木 光春

◆民具マンスリー 神奈川大学日本常民文化研究所

〒221-0802横浜市神奈川区六角橋3-27-1 TEL045-481-5661 年3500円

1968年創刊 <http://jominken.kanagawa-u.ac.jp>

◇670 (56-10) 2024.1 A5 24p 350円

石になったザクマタ

一茨城県常陸大宮市の安座祈願と動物供養を事例に 渡瀬 綾乃  
 韓国潜水器漁業の導入と現況 関庚澤／訳・呉昌炫  
 企画テーマ展「アンモナイトと生きる—50年の歩みとこれから—」を  
 開催して 尾曲 香織

マンスリー揭示板 ATELIER MUJI GINZA 素材の源流を辿る『渡  
 し舟—からむしの営み—』展

◇671 (56-11) 2024.2 A5 24p 350円

ハンデル電算写植機の第1号機 石川 亮太  
 愛媛県内子町における民具をめぐる取り組みについて 小野 翠  
 仙台竿の復元的製作—旧仙台竿の姿を求めて 手塚 一佳  
 マンスリー揭示板 ふじのくに茶の都ミュージアム 企画展「蒸し製  
 煎茶 喫茶の変遷」

新潟県

◆良寛だより 全国良寛会会報

〒951-8112新潟市中央区南浜通2 北方文化博物館新潟分館内

TEL025-222-2262 1978年創刊

◇183 2024.1 A4 16p

「田中の一つ松」川合玉堂・画（出雲崎町・良寛記念館蔵）

リレーエッセイ 良寛つれづれ(32) 良寛と阿部定珍 阿部 玲子

|                                                     |       |
|-----------------------------------------------------|-------|
| 良寛遺墨鑑賞(31) 長歌「月の兎」                                  | 小島 正芳 |
| 各地良寛会だより(22) 岡山県良寛会の巻(上)                            | 後藤田恵子 |
| 第46回全国良寛会柳津大会(予告)／第47回全国良寛会大会 令和七年<br>六月に新潟県南魚沼市で開催 |       |
| 「全国良寛会柳津大会」開催に向けて                                   | 井関 庄一 |
| 東京大学 天上大風の碑(下)―大風、未だ止まず                             | 立花 純子 |
| 蓮の花の愛語                                              | 黒羽由紀子 |
| 理事懇談会での意見交換の報告                                      | 本間 明  |
| 私の好きな良寛さん ひとり遊びの良寛さん                                | 柳本 雄司 |
| 良寛さんの養生法(中)                                         | 櫻井 浩治 |
| 栗山元監督 原稿ありがとう                                       | 坂井 幸子 |
| 良寛 二親 同胞の詩歌                                         | 吉田 福恵 |
| 良寛を今に伝えた人びと(12) 飯塚久利                                | 本間 明  |
| 「良寛てまり庵」の開庵にあたって                                    | 加藤 惇一 |
| トピックス                                               |       |
| 18回目を迎えた「しばた良寛講座」                                   | 吉井 清一 |
| 「お礼状」と「お願い状」は同次元!?                                  | 泉田 佑子 |
| カナダケベック州で書道講座                                       | 寺本 小鳳 |
| 新刊紹介 「詩集 花火のない部屋で」(吟遊社) 弟子丸博道著                      | 吉井 清一 |
| 会報紹介 良寛さま第110号(岡山県良寛会)、洗心第33号(御風会)                  |       |
| 良寛を訪ねて(32) 庇護者阿部家(燕市渡部)(下)                          | 吉井 清一 |

## 福 井 県

### ◆若越郷土研究 福井県郷土誌懇談会

〒918-8113福井市下馬町51-11 福井県立図書館内 TEL0776-33-8860

年3500円 1956年創刊

### ◇317 (68-2) 2024.1 B5 111p

|                       |           |
|-----------------------|-----------|
| 北国庄園の消滅過程―大乘院尋憲の動向を追う | 竹間 芳明     |
| 天文・永禄年間の政局と若狭武田氏      |           |
| 一武田元光の婚姻政策の展開とその後     | 笹木 康平     |
| 福井のお雇い教師ブラウネルについて     | 青木 孝文     |
| 橋本左内の生誕地に関する一考察       | 西村 英之     |
| 南北朝期における朝倉氏と斯波氏       | 河村 昭一     |
| 豊臣期の越前府中城主について        | 佐藤 圭      |
| 「南越雑話」(11・完)―翻刻と現代語訳  | 「南越雑話」輪読会 |

## 長野県

### ◆飯田市歴史ニュース 飯田市歴史研究所

〒395-0803飯田市鼎下山538 TEL0265-53-4670

<https://www.city.iida.lg.jp/soshiki/39/>

### ◇128 2024.2 A4 4p

歴史研究所設立20周年ワークショップ 地域の歴史を未来へ引き継ぐ  
 ―飯田下伊那地域史研究の現在― 報告「生きるための江戸時代史」  
 多和田雅保、「歴史文化を活かした地域づくり―座光寺の取組み―」  
 田口博人さん、「建築史研究と地域」岩田会津／コメント 「近現代  
 史研究の立場」田中雅孝、「満洲移民研究の立場から」本島和人  
 4月から新しいゼミが始まります。

建築史ゼミ 担当：岩田会津／地域史ゼミ 担当：伊藤悠

### ◆伊那路 上伊那郷土研究会

〒399-4117駒ヶ根市赤穂11193-7 吉田保晴方 年6000円

### ◇804 (68-1) 2024.1 A5 40p 600円

《民俗特集》

ごあいさつ

上伊那郷土研究会

獵師の話―アルプスにクマ、シカ、イノシシを追って

中崎 隆生

「浦」ってどんな所

小松 武幸

十王像のつぶやき

宮下 明子

伊那谷のミソサザイ―民俗の窓を通して(48)

吉田 保晴

地域の歴史を物語る古文書・古記録の散逸について

福澤 浩之

徒然さんば(53) 梅戸神社 飯島町

絵と文・吉田勝美

### ◇805 (68-2) 2024.2 A5 40p 600円

《井月特集》

生誕200年記念 千両千両井月さんまつり 講演録「芭蕉と井月」(1) 小澤 實

共同研究ノート(1) 『きせ錦』と井月

一ノ瀬武志

井月生誕200年の追憶―花と嵐の生涯

翁 悦治

上伊那の植物(4) 極楽平の希産種

伊藤 一幸

図説・上伊那の民俗(77) 羽広菜(伊那市西箕輪羽広)

三石 稔

徒然さんば(54) どんと焼き 飯島町田切

絵と文・吉田勝美

◆伊那民俗 柳田国男記念伊那民俗学研究所

〒395-0034飯田市追手町2-655 飯田市美術博物館内 TEL0265-22-8118

年3000円 1990年創刊 <https://inaminkenhome.blogspot.com>

◇135 2023.12 B5 8p

七草粥を門松に供える／阿南町新野の七草粥にからむ行事（2016年、  
櫻井撮影）

静岡県水窪町の七十五膳供え一山住神社と河内観音堂を事例に 岩瀬 春奈

常民大学運動50年・後藤総一郎没後20年記念 第34回常民大学合同研

究会報告 松上 清志

椎葉神楽探訪記 今井 啓

報告 9月・10月通常例会 岡庭圭佑会員「飯田の本屋台 在りし日

の姿を求めて」、豊村由香理会員「2022年・向方の掛け踊り 復活

の経緯」 米山 梓

表紙写真解説 阿南町新屋の七草粥 櫻井 弘人

◆信濃 信濃史学会

〒399-0036松本市村井町南1-28-35 年10200円 TEL0263-58-1213

<http://www.shinano-shigakukai.jp>

◇888 (76-1) 2024.1 A5 88p 1150円

《民俗学特集号》

「道祖神伝来」の系譜／附録「道祖神伝承」文献資料 倉石 忠彦

民俗学にとっての歴史と現代 福澤 昭司

愛宕信仰の分布と偏在する信仰について一八ヶ岳南麓の勝軍地藏 下平 武

松本の石造文化史を考える一但唱と高遠石工 木下 守

◇889 (76-2) 2024.2 A5 80p 1150円

《近現代特集号》

御真影と久米正雄一追憶の認識から真相を究明する 伊藤 友久

金庫式奉安庫の誕生(2)ーカタログ・広告資料に着目して 出河 裕典

満州事変は二度始まった(上) 鈴岡 潤一

長野県内の景観形成をめぐる近年の動向(1)

一景観形成の取り組み事例を中心に 山口 通之

報告

第八回地方史講座「村びとたちの妙高山信仰」 花岡 康隆

長野県公文書審議会傍聴記 その2 後藤 芳孝

◆千 曲 ふるさとに学ぶ 東信史学会

〒386-0024上田市大手2-7-13 上小教育会館内 TEL0268-24-2182  
年3000円 1974年創刊

◇180 2024.2 A5 70p

扉写真と解説 武水別神社神官松田邸

一戦国時代の館跡に建つ江戸時代の神主屋敷

中島 丈晴

《東信史学会創立50周年》

創立五十周年記念総会特別講演

慶応元年の上田一原町問屋日記にみる実態

尾崎 行也

山家神社の仁王般若経供養塔の由来

倉嶋 勝夫

上田城下町の刑罰をめぐって一原町問屋の記録から

小宮山千佐

東信史学会創立五十周年記念

祝 東信史学会創立の頃を省みて想う

櫻井 松夫

より確かな史料による地方史研究を

小林 収

黒坂周平先生との出会いと思い出

出浦 晃彦

東信史学会創立五十周年を祝って

柳澤 哲

古建築に魅せられて一上田小県誌編纂に関わって

大西 道夫

東信史学会創立五十周年記念 小諸支部の歩みと今後への期待

牧野 和人

連載講座 古文書解説講座 第171回

市川 包雄

◆長野県民俗の会会報

〒384-2104佐久市甲135 田澤直人方 TEL0267-88-6927 年5000円 1978年創刊  
<http://nagano-minzoku.chu.jp>

◇46 2023.12 A5 245p

《倉石忠彦先生追悼特集》

遺稿 安曇野の食習暦

倉石 忠彦

追悼論文

柳田國男『石神問答』から倉石忠彦『道祖神信仰論』へ

板橋 春夫

地域における伝承文化総体の追跡

一塩尻市洗馬地区小曾部調査に関わらせて

田中 宣一

長野県の仕事着

福澤 昭司

長野県における民俗地図への取り組み

三石 稔

薙鎌研究と民俗学

笹本 正治

追悼文

駆け出しの頃の出会いとその思い出

松崎 憲三

倉石忠彦先生を想う

小川 直之

中込 睦子

加藤 隆志

安室 知

胡桃沢勸司

酒井 玄

多田井幸視

中村 利彦

田澤 直人

中崎 隆生

小野 和英

宮本 尚子

安藤 有希

太田 真理

倉石あつ子

倉石 美都

諏訪神社上社古神事におけるソソウ神の一考察

一田遊びとの関連を通して

中川美穂子

権太移住・引揚者の生活

一珍内町真宗大谷派内布教所の生活を例として

山本 泰照

大日向 満州分村の記憶

監修・伊藤純郎

事例報告 続・開田高原の冬—究極の寒気を耐え忍ぶ

藤村 勇一

倉石忠彦先生年譜／倉石忠彦先生著作物一覽

[illegible]

\*2023年6月25日に84歳で亡くなった民俗学者で國學院大學名誉教授の倉石忠彦氏の追悼号である。

同氏は長野市生まれ、小学6年生で「河原の石の研究から」により長野県児

児童生徒化学展覧会銀賞、中学1年生では「大峰山の研究」で長野県児童生徒化学展覧会銀賞を受賞、進学した國學院大學時代には日本民俗学会年会で研究発表「道祖神信仰の一考察」するほどの、生まれながらにして好奇心旺盛な学究肌であった。大学卒業後、県内の高等学校教諭の傍ら、県史民俗資料調査委員、県史刊行編集委員、『大町市史』編集委員、また、坪井洋文を研究代表とする国立歴史民俗博物館共同研究「都市における生活空間の史的研究」に加わるなど、土地と生活に根ざした活動を続けた。

44歳で公立学校教員を退職して母校國學院大學教員に転じてからも、塩尻市誌編集専門委員、長野県文化財保護審議会委員、松本市史編集委員会編集員を始め、長野県内と関東各地の自治体史編集に関わった。さらに、文化庁の文化財保護審議会専門員や日本民俗学会代表理事などの要職を歴任した。

同氏の大きな功績の一つは、1990年に「都市を考える懇談会」、1994年に「都市民俗学研究会」、1996年に「現代伝承論研究会」、2003年に「道祖神研究会」、2007年に「民俗地図研究会」と、従来の民俗学研究の枠を超えて、今日的な問題を考える様々な視点からの研究会を立ち上げ、多くの後進を育てたことにあるのではなかろうか。本特集号に6本もの追悼論文が載り、追悼文の中にも、思い出や感謝の言葉だけでなく、研究者として、これからの課題を報告する文章があることを、喜んでおられるに違いない。

#### ◆長野県民俗の会通信

〒384-2104 佐久市甲135 田澤直人 方 TEL0267-88-6927 年5000円

<http://nagano-minzoku.chu.jp>

◇299 2024.1 B5 8p

五感(五官)と風土

巻山 圭一

「道祖神」「道祖神伝承」の概念(2)

倉石 忠彦

葉書でつぶやくコーナー 穿針のセンスー透析室春秋5

倉石 忠彦

第238回例会報告 松本市立博物館

(巻山)

## 静岡県

#### ◆静岡県近代史研究会会報

〒422-8526 静岡市駿河区谷田52-1 静岡県立大学国際関係学部 森山優研究室  
年4000円 <https://shizuokakenkindaishi.wordpress.com>

◇544 2024.1 A4 4p

1月例会レジュメ 戦後日本における鉱山反対運動と温泉地

ー静岡県伊東温泉を事例に

高柳 友彦

俳優森繁久彌の父は遠州横須賀割付の旧幕臣だった

樋口 雄彦

◇545 2024.2 A4 4p

2月例会案内 静岡市歴史博物館企画展「清水 交流の道」の見学と  
岡村龍男氏(第1回原口清先生記念研究奨励制度受賞者)による講話  
2月例会レジュメ 原口清先生記念研究奨励制度授賞作品報告「清水  
港関係史料の所在と保存活用―『清水市史』編さんと“新発見”の  
袖師澤野家文書を中心に―」

岡村 龍男

第2回「原口清先生記念研究奨励制度」の募集を開始します！

### ◆静岡県地域史研究会報

〒412-0043御殿場市新橋1891-1 厚地淳司気付 年4000円 2011年創刊

◇252 2024.1 B5 4p

足利尊氏の駿河国得倉郷寄進状

廣田 浩治

10月例会 史料紹介 浜松荘八柱神社所蔵棟札

森田 香司

11月例会 松平信康はいつどこで亡くなったのか

―本多隆成氏よりのご批判をうけて

高橋 陽介

◇253 2024.2 B5 4p

「バンチヤア国」の使者

小川 雄

12月例会 近世における駿府城の実像

増田亜矢乃

1月例会 駿府・清水の米蔵

柴 雅房

### ◆静岡平和資料センターだより

〒420-0858 静岡市葵区伝馬町10-25 中央ビル90 2階 TEL054-271-9004

<http://www.shizuoka-heiwa.jp>

◇71 2023.11 A4 2p

静岡平和資料センター所蔵資料展示「静岡の戦争と空襲11」／静岡平  
和資料センター 企画コーナー展示「消えゆく戦跡」

### ◆静岡県民俗学会誌

〒424-0053静岡市清水区渋川1-9-6-101 1977年創刊

<http://web.thn.jp/s-folklore/>

◇34 2023.10 B5 90p 1000円

奉納された旅行のアルバム―順礼絵馬にみる女性の旅

渡邊 好洋

平成29年度例会研究報告

地名の話～小字名の成立事例―掛川市上西之谷の場合

富山 昭

松野のボッカ様と別所―中世の産鉄、産金開発をめぐる

大村 和男

〈駿河・安部川の馬蹄石〉由来—その文献資料をたどる  
採物の形態と模倣—祭礼用具の検討  
静岡県にかかわる民俗学関係文献目録(2016・2017年度)

富山 昭  
勝間田仁美

◆静岡歴研会報 静岡県歴史研究会

〒422-8045静岡市駿河区西島363-55 篠原旭方 TEL054-286-8659

◇166 2024.2 B5 12p

11月5日(日) 秋期日帰り見学会 駿府における家康公の居住地を巡る

案内人：篠原旭氏・須山忠治氏

文責・鈴木康久

令和5年12月5日 第138回研究会 松井・篠原両氏発表

「駿府城の天守台その他の発掘結果」に関する静岡市役所歴史文化  
課調査員・松井一明氏の講演／「駿府城内遺跡と駿府城遺跡」と題  
する篠原氏の研究発表内容

愛 知 県

◆あつた 熱田神宮宮庁

〒456-8585名古屋市熱田区神宮1-1-1 TEL052-671-4151

<https://www.atsutajingu.or.jp>

◇281 2024.1 A5 45p

年頭のご挨拶

千秋 季頼

南神池周辺の林苑整備の考え方(1)

原野 幹義

熱田社と中世都市熱田の結界「本宮惣構」について

細谷 公大

熱田神宮御礼遇に関する一考察(6)

飛岡 秀樹

◆蓬 左 名古屋市蓬左文庫

〒461-0023名古屋市東区徳川町1001 TEL052-935-2173 1980年創刊

<http://housa.city.nagoya.jp>

◇106 2024.1 A4 8p

『銅人経』拓本を探る!?(2) 『銅人経』拓本はいつ尾張徳川家に来た

か?—御文庫蔵書目録から探る

丸山裕美子

のぞいてみよう、名工のお仕事(2)

大工の図面の描き方—「伊藤満作家資料」から

米澤 貴紀

俳諧懷紙と千鳥塚(中)

井上 善博

表紙 雑Y-7530 水甕(みずがめ) 大正3年(1914) 19世紀～

35.8cm×22.0cm 水甕—「重之集」を中心に

星子 桃子

◆まつり通信 まつり同好会

〒458-0006名古屋市長区細口3-161 田中青樹方 TEL052-877-3497

年5000円 1961年創刊

◇629 (64-1) 2024.1 A4 8p 600円

表紙の言葉 修正鬼会 大分県国東市・成仏寺

須藤 功

道祖神祭り

須藤 功

南西諸島の輪踊り(サークルダンシング)(8)

ー沖縄本島(5) ウスデーク

坂本 要

## 滋 賀 県

◆湖国と文化 びわ湖芸術文化財団

〒520-0806大津市打出浜15-1 TEL077-523-7146 年2520円 1977年創刊

<https://www.biwako-arts.or.jp>

◇186 (48-1) 2024.1 B5 88p 600円

《特集 紫式部と近江～物語の誕生》

プロローグ

紫式部と石山寺 紡がれる物語への憧れ

鷺尾 龍華

紫式部に逢いに、小町と

伊藤比呂美

紫式部と藤原道長

島内 景二

「石山寺縁起絵巻」の成立とその背景

國賀由美子

紫式部の近江～『紫式部集』と辿る

岡本 光夫

紫式部が暮らした越前

町田 雅子

源氏物語表白

訳・伊藤比呂美

聖なる竹生島 2024年「長栄座」新作に向けて

小林 昌廣

歴史の玉手箱(30) 大震災時の救援活動

稲田 琴美

「滋賀の牧野富太郎」橋本忠太郎を知っていますか?

編集 室

近江の懐(27)

新旭 鯉の聖地 藁園神社、なまずまつり

加藤 賢治

新旭の古材商

石川 亮

ぶらり近江はっけん伝(27) 観音の里・高月

岸野 洋

伊勢遺跡を知ろう 史跡公園オープン

伴野 幸一

湖国のつなぎて～地域おこし協力隊探訪記(7)

ワタナベユカリさん(長浜市)

文・写真 船崎桜

カラーグラビア

琵琶湖センス・オブ・ワンダー 湖と人が織りなす歴史と今(12)

人とヨシ原 変化し続ける水辺

文・琵琶湖博物館 芦名美奈子／写真・オザキマサキ  
祭の美 祈りのかたち(20) 海幸・山幸・田の恵み  
一年の福、縄飾りに(牛の角飾り=多賀町川相 赤渕神社)

文・写真 川島朱実

万葉の旅人(19) 田上山 木綿畳田上山のさな葛ありさりてしも今

ならずとも(巻12-3070 作者不明) 文と曲・林博通／画・鈴木靖将  
食まなび館へようこそ！(3) 今号のメイン料理 お雑煮

堀越昌子・肥田文子・中村紀子・鳥本登志子／写真・浅井千穂  
インタビュー 湖と生きる 人が、手で、つくる、ということ。

木工芸の人間国宝に認定された 宮本貞治さん

文・三宅貴江／写真・谷本吉有基

トムさんの日野暮らし 第14回 平野のひとつき

変わるもの、変わってほしくないもの トム・ヴィンセント

湖国と文化・地域記者レポート 北から南から

環境と共に守りたい、琵琶湖の淡水真珠 泉 千恵  
湖国の冬景色を堪能、「雪見船クルーズ」 町田 雅子  
流域の未来を創る 長澤由香里

#### ◆戦国史と人 女風林火山 戦国史と人を学ぶ会／武田勝頼・松姫探究会

〒520-0528大津市和辻高城289-11 首藤義之方 年1400円 1987年創刊

◇72 2023.7 B5 78p

武田信虎の息女「おふく女」とは誰なのか

一甲賀郡水口的美濃部家領から年貢を取っていた信虎娘の謎 首藤 義之  
武田信君(梅雪)と見性院殿の子供―黒田基樹氏の新著を読んで 首藤 義之  
コラム1 遠山景任・遠山直廉(苗木勘太郎)・御坊丸についての諸説

編集室

武田信勝(勝頼の嫡男)の妻(江州甲賀・青木氏の娘)子(青木新五郎)の  
謎 首藤 義之

コラム2 佃島伝説と本能寺の変「神君伊賀越え」伝説の謎 編集室

## 京 都 府

#### ◆芸能史研究 芸能史研究会

〒602-0855京都市上京区河原町荒神口下ル上生洲町221 キトウビル303 TEL075-  
251-2371 年6000円 1963年創刊 <http://www5b.biglobe.ne.jp/~geinoshi/>

◇242 2023.7 B5 54p 1800円

山・鉾・屋台の物と技―車輪と運行

植木 行宣

平安時代の十列の研究

近藤 公子

書 評

山本ひろ子・松尾恒一・福田晃編『神楽の中世―宗教芸能の地平へ』

西浦 英紀

紹 介

佐々木洋次著『能装束精解 製作の現場から』

(紅猫)

武久堅著『平家物語への羅針盤』

(kencel)

『京都 二条城と寛永文化』

(西山)

例会発表要旨

十三世紀の蹴鞠書における「序破急」―その形成過程と意味

2023年3月例会

湯 書華

織田有楽斎の歴史像について 2023年4月例会

西山 剛

能《葵上》における「横川の小聖」から

―浄蔵と『北野天神縁起』の影響 2023年5月例会

澤野 加奈

第六十一回 総会資料／林屋辰三郎芸能史研究特別賞 下坂守氏『祇

園祭千百五十年記念 中世祇園社の研究』(法蔵館、二〇二一)並

びにこれまでの業績

◇243 2023.10 B5 48p 1800円

幕末維新期における相撲に対する意識と「廃止論」

―違式註違条例の再検討と合わせて

ルーベック イアン栄

芸能史ノート

三条瀬戸物屋町研究の新知見―大久保忠隣書状をめぐる

岡 佳子

書 評

下坂守著 祇園祭千百五十年記念『中近世祇園社の研究』

野地 秀俊

山本ひろ子著『摩多羅神―我らいかなる縁ありて』

鈴木 正崇

芸能史の書棚 古井戸秀夫著『評伝 鶴屋南北』

斉藤 利彦

紹 介

橋本素子・三笠景子編著『茶の湯の歴史を問い直す―創られた伝説

から真実へ』

(Y・O)

福原敏男著『風流踊 歴史民俗画像を読み解く』

(K・Y)

公益財団法人放下鉾保存会企画・編集『公益財団法人放下鉾保存会

設立百周年記念誌』

往 還 亭 主

例会発表要旨

明治初期の上方落語における『落語改良』

一見台等の道具や口演方法の変遷考 2023年7月例会  
岸和田の能楽師・杉江櫻國について—先進性と地域性  
2023年8月例会

芝田 純平  
朝原 広基

◆史迹と美術 史迹美術同友会

〒602-8342京都市上京区仁和寺街道千本西入五番町158-2 コスモトゥデイ708  
丸山貞方 TEL075-462-4292 年8000円 1930年創刊  
<https://www.shibikai1930.com>

◇940 (93-10) 2023.12 A5 36p 918円

九州の石塔調査報告 12. 法華寺観音堂角宝塔々身  
高野山青葉まつり・宗祖隆誕会考  
格狭間の起源について

佐藤 誠  
木下 浩良  
告 天 子

第1110回例会 名古屋台地を歩く

水野孝文／野崎小百合

第1111回例会 豊中の文化財を訪ねる

吉村 龍二

史迹と美術 第九十三輯総合目録 自931至940号

◇941 (94-1) 2024.1 A5 34p 1018円

五輪塔雑攷 彩色された五輪塔(上)

加藤 繁生

画論研究3 『画筌』の研究—現代語訳付(13)

寺本 健三

第1112回例会 大山崎町と島本町の史跡

矢ヶ崎善太郎

表紙カット解説 正応寺(横浜市港南区野庭町)

嘉津山 清

川勝政太郎主幹 お墓参り

(田中)

◆都藝泥布 京都地名研究会通信

〒610-1126京都市西京区大原野上里男鹿町14-5 入江成治方 FAX075-331-3431  
年3000円 2002年創刊 <https://kyotochimei.wixsite.com/kyotochimei>

◇83 2023.12 A4 8p

第61回地名フォーラム 研究発表1 伝えたい残したい古典の宝庫

『井出百首』第3巻～ 抄録 小川榮太郎、研究発表2 頼政と平  
等院・扇の芝 小寺慶昭氏

入江 成治

第62回地名フォーラム開催案内 研究発表1 王朝文学の「柏木」と

は何か—賀茂別雷神社摂社・奈良神社の由来に寄せて 沖村由香氏、

研究発表2 物語たちの京都 野村倫子氏

地名随想

平安京を偲ぶ町名(8 主悦町(ちからちょう))

清水 弘

芭蕉の発句と地名(4)

小寺 慶昭

地名ウォークに参加して

山内 卓郎

「町名を考える会」開催報告

紹介 松ヶ崎小学校創立150周年記念『子どもたちのための松ヶ崎風  
土記』／『日本言語文化研究』第28号 10月発行

会員の著作刊行情報

井上満郎『渡りくる人びとー日本・京都の深層を知るー』

◆やましろ 城南郷土史研究会

〒619-0211木津川市鹿背山大木谷47-2 田辺英夫方 年2000円 1953年創刊

◇35 2023.12 B5 158p 2000円

巻頭言

南山城水害70年

高校生が解き明かす南山城水害

ー京都府立桃山高等学校グローバルサイエンス部気象班の取組 阪本 和則

南山城水害を伝える木津学園新聞と高校生たち 赤塚 康雄

南山城水害・台風13号災害文献目録 追録

笠置寺縁起にみえる綺(カバタ)ー鎌倉時代の笠置寺と光明山寺 八田 達男

瓶原郷西村の「ええじゃないか」ー新出の奥田家文書の紹介 中川 博勝

菅茶山と巨椋池 小西 亘

鹿背山城跡発見顛末記 中井 均

木津農学校時代の戦争体験 中津川敬朗

革新自治体と埋蔵文化財をめぐるー考察ー京都府城陽地域を中心に 鈴木 健吾

田原村の日露戦争(4)

宇治田原町今西義彦家文書にみる戦地からの手紙(下) 橋 尚彦

木津川市上粕出身 不屈のジャーナリスト・柳沢恭雄とその人生(下の5)

日本電波ニュース社による「歴史の記録係り」としてのベトナム戦



城南郷土史研究会結成70年 郷土の歴史的創造の為に

(『木津学園新聞』23号〈木津高校新聞部、1953年6月24日〉より再録)

中津川敬朗

『やましろ』『やましろ通信』総目次

\*城南郷土史研究会は、1953年4月に京都府上狛町高麗村組合立上狛小学校(現木津川市立上狛小学校)で「山城の歴史を語る夕」を開催して発足した。サンフランシスコ平和条約や日米安保条約をめぐって国論が二分されるなど、大きな変動の時期であった。

同会代表中津川敬朗氏の「郷土の歴史創造の為に」は、会発足直前に執筆され、1953年6月24日付の『木津学園新聞』23号に掲載されたもので、日本の事態が深刻である今だからこそ、学問が平和と独立を願う人たちの精神的な武器として求められているとして、国民のための歴史学の創造、郷土史研究の意義を次のように記している。長くなるが、結び部分を引用する。

「郷土の歴史は現在の私たちが生活を高め郷土を発展させていく努力のなかで、私たちの先祖たちがどうして苦しい生活を切りひらいてきたのかをふり返り、自分たちの足跡や先祖たちの生活のあり方を考えるところから出発する。またそれは私たちが暗記的に接してきた日本歴史を郷土の歴史を通じて生きた歴史に理解する手掛りを発見させる。そして何よりも郷土の歴史を創造するための努力は、今日の危機の中で、村人たちの生活を守り高めるたたかいの中で、郷土を破壊するものとのたたかいを通じてのみ創造されていく。」

70年の時を超えて、みずみずしく熱い思いが伝わってくる。

『やましろ』も会発足と同時に創刊された。当初は隔月刊であったが、次第に滞りがちになり、1984年以降は研究会の休会によって長く中断した。しかし、2003年に復刊(第18号)してからはほぼ年刊を維持して現在に至っている。

「高校生が解き明かす南山城水害」は、京都府立桃山高等学校の生徒グループが、1953年8月に発生した大水害の原因を、近年の豪雨との関連などにより解明しようとする取り組みである(執筆は教諭の阪本和則氏)。また、赤塚康雄「南山城水害を伝える木津学園新聞と高校生たち」は、1953年の大水害の様子を当時の府立木津高校新聞部の生徒が取材し、『木津学園新聞』第24号(1953年9月21日)に詳細に報じたことを紹介している。高校生たちが郷土に目を向けてくれていることは嬉しいことである。

本号の巻頭言に、「『やましろ』は、自主的な勉強の成果を通して、山城の人の歴史と、その伝統を考えあつていく場です。／＼『やましろ』を読みあうことは、山城の歴史と伝統を土台に、現在の暮らしを考え、未来の地域社会をつくることに役立てることです」とある。会の継続と共に、若者たちの活動に期待したい。

## 大 阪 府

### ◆泉佐野の歴史と今を知る会会報

〒596-0845岸和田市阿間河滝1425 井田寿邦方 Tel0724-28-0204 年1200円

#### ◇433 2024.1 B5 12p

「山直神社」由緒書を巡る三つの迷宮～山直郷内畑村の行方(6) 池田 雅治  
 史料紹介 山本家文書 幕末の情報収集(6) 三 他の写など(続) 井田 寿邦  
 史料紹介 泉州の寺社(31) 佐野村九社関係文書 藤田家文書イ38の8  
 乍恐願書 文化三(一八〇六)九月

#### ◇434 2024.2 B5 12p

史料紹介 山本家文書 幕末の情報収集(7) 三 他の写など(続) 井田 寿邦  
 覚野兵藏家 北山 理

### ◆近畿文化 近畿文化会

〒543-0001大阪市天王寺区上本町6-5-13 上本町YUFURA 7階

Tel06-6775-3686 年2200円 <https://www.kintetsu-g-hd.co.jp/culture/bunka/>

#### ◇890 2024.1 A4 8p 300円

河内の阿都と弓削一聖徳太子と物部守屋、称徳天皇と道鏡 鷺森 浩幸  
 酒吞童子と源頼光—もう一つの大江山から源氏発祥の地“多田”へ 池田 淳

#### ◇891 2024.2 A4 12p 300円

平安京の中心部を歩く—古地図から歩く京都の古代・中世の景観 天野 太郎  
 十一面観音をめぐる—大御堂観音寺から聖林寺 小林 裕子  
 額田王と鏡王女—飛鳥時代の皇族の称号 東野 治之

### ◆古代史の海 「古代史の海」の会

〒573-0084枚方市香里ヶ丘6-4-9 上遠野浩一方 年4000円 1995年創刊

<http://kodaishinoumi.sakura.ne.jp/kodaishi/>

#### ◇111 2024.1 A5 64p 1500円

巻頭言 学問の分野を超えて 上遠野浩一  
 二〇二二年・古代史総括 森岡 秀人  
 古代農耕祭祀の構造(上) 三浦 啓伯  
 アンデス通信(64) 「地域について学ぶこと」をめぐって 市木 尚利  
 へそまがり「マイナポータル」考 山下 輝幸  
 渡来安羅人と帆立貝古墳 渡部 正路

◆左海民俗 堺民俗会

〒593-8302堺市西区北条町2丁10-11 佐原浩二方 TEL072-275-8588 年3000円  
<https://ameblo.jp/skmz2014>

◇172 2023.12 B5 8p

故下谷佐吉さん遺稿(上) (佐原記)

栗の木の伝承 下谷 佐吉

森井先生からの便り(2) 佐原 浩二

戦後七八年の終戦記念の日に思う 森井 淳吉

朝鮮の役(文禄・慶長の役) 光田 三生

第77回堺民俗総会報告／2023年度 堺民俗学会行事計画

5月例会報告 百舌鳥古墳群散策

担当：佐原浩二 案内・講師：泉谷博幸

6月例会報告 石清水八幡宮と八幡市散策 西井 清和

7月例会報告 京都方広寺周辺散策 光田 三生

9月例会報告 長谷寺探訪 米道 綱夫

◆城だより 日本古城友の会

〒577-0044大阪市西成区玉出中2-11-28 平川大輔方 TEL06-6652-4511  
<http://www.kojyo-tomonokai.com>

◇661 2024.1 B5 24p

日本古城友の会総会 令和5年度の例会(概要報告)

2月 山城 鹿背山城・木津城を訪ねる(第724回例会) 今回の見どころ

創立60周年記念式典・記念講演会報告 中西徹会長による開会のあい

さつ／来賓紹介・来賓挨拶／60周年記念式典功労者表彰／基調講演

「山城における居住施設—その構造と機能—」滋賀県立大学名誉教

授 中井均先生／記念講演「観音寺・歴史探訪」近畿大学准教授

新谷和之先生 報告・文責 平川大輔

第724回例会 訪問先：近江観音寺城 案内講師：中井均先生 担当

幹事：中西徹・平川大輔 報告・中西 徹

京都府福知山市の「鬼ヶ城」と「猪崎城」を訪ねて(前編) 坂本 昇

別冊(B4 4頁) 第723回 天王寺区史跡めぐり 案内：川村敦史・

藤岡秀典

◇662 2024.2 B5 22p

大和 佐味城を訪ねる(3月・第725回) 今回の見どころ／4月・第

726回例会のご案内 4月7日(第1日曜日)現地集合 探訪先：近江

小谷城 担当幹事：小川実・藤岡秀典／受贈図書・資料／城郭ニュース（新聞記事等提供者）／展覧会等の御案内 姫路城世界遺産登録30周年記念展 開催中～3月31日（日） 姫路市埋蔵文化財センター、企画展「知られざる山城の魅力—中世播磨250の山城—」 1月27日（土）～3月24日（日）／会員各位へ会費納入のお願い

1月・第723回例会（総会）の報告

1月・第723回例会午後の部の報告

探訪先：天王寺区史跡めぐり 案内：川村敦史・藤岡秀典 報告：藤岡秀典  
京都府福知山市の「鬼ヶ城」と「猪崎城」を訪ねて（後編） 坂本 昇  
別冊（B4 7頁） 第724回

山城 鹿背山城・木津城を訪ねる 担当幹事：下岡力・水品弘樹

#### ◆つどい 豊中歴史同好会

〒560-0054豊中市桜の町4-6-27-208 小川滋方 月1000円

1988年創刊 <http://toyoreki.way-nifty.com>

#### ◇423 2024.1 B5 20p

|                              |       |
|------------------------------|-------|
| 謹んで新春のお祝いを申し上げます 表紙：葛井寺「南大門」 | 小川 滋  |
| 神武天皇東遷伝承形成史論（下）—阿陀の鶴養と吉野の国柄  | 平林 章仁 |
| バス旅行 かつらぎの古代を探る（上）           | 小川 滋  |

#### ◇424 2024.2 B5 22p

|                    |      |
|--------------------|------|
| 「卑弥呼共立」事情          | 寺沢 薫 |
| バス旅行 かつらぎの古代を探る（下） | 小川 滋 |

#### ◆ヒストリア 大阪歴史学会

〒657-8501神戸市灘区六甲台町1-1 神戸大学大学院人文学研究科

古市晃研究室気付 1951年創刊 <http://www.historia-osaka.on.arena.ne.jp>

#### ◇301 2023.12 A5 265p

《2023年度大会特集号》

部会報告 考古

|                          |         |
|--------------------------|---------|
| 戦国期の瓦生産—摂津・河内、阿波・淡路の事例から | 岡本 健    |
| 近世大坂における瓦の生産と流通          | 市川 創    |
| ミニシンポジウム記録               | 文責：相馬勇介 |

部会報告 古代 日本古代の国郡行政と村落社会 村上 菜葉

部会報告 中世

|                    |       |
|--------------------|-------|
| 中世前期における全国的内乱と奥羽地方 | 大島 佳代 |
| 中世前期の荘園制支配と荘官      | 永野 弘明 |

部会報告 近世

近世後期代官役所の金融仲介と貸付—近江国信楽代官役所を事例に

平田 良行

幕末大坂における本屋仲間と出版統制

石橋 知之

部会報告 近代

近衛新体制期の国策研究会と民間経済界

—「官民一致」・「官僚独善」をめぐる

茶谷 翔

「協議の場」としての国策研究会論に触れて—茶谷報告コメント

兒玉 州平

書評 関根淳著『日本古代史書研究』

下鶴 隆

報告 二〇二三年度「第三九回歴史学入門講座」の記録

北 将伍

委員会報告

市 大樹

兵 庫 県

◆こうべ空襲だより 神戸空襲を記録する会

岡村隆弘方 <https://ksyc.jp/kobe-kuusyuu/>

◇23 2024.2 A4 12p

お知らせ 第53回神戸空襲犠牲者合同慰霊祭／第7回神戸空襲犠牲者

刻銘追加式

第52回神戸空襲犠牲者合同慰霊祭

第20回戦跡ウォーク

山本 優

シンポジウム「空襲・戦災体験を次の世代に引き継いでいくために—

神戸空襲を記録する会のこれまでとこれから—」神戸空襲を記録

する会主催 共催・兵庫津ミュージアム

世話人・辻川敦

神戸空襲を記録する会の「戦災アーカイブコレクション」の構築に向

けて「神戸空襲を記録する会の「記録」をめぐる活動と展開2023年」

長 志珠絵

神戸市が調査する戦時下の防空壕について／第53回空襲・戦災を記録

する会全国連絡協議会 秋田大会 現地開催とオンライン開催

空襲戦跡ボランティアガイド養成講座(全4回)

エノラゲイが投下した模擬原爆パンプキンの行方を追え!

西岡 孔貴

絵本「手をはなしたらあかん—神戸空襲とお父さん」

作者山村賢二さんご逝去

◆神戸史談 神戸史談会

〒653-0885神戸市長田区堀切町8-8 北井正昭方 TEL078-631-5995

年3000円 1926年創刊

◇321 2024.1 A5 64p

口絵 神戸史談会 記念碑（撮影・高橋貞美）

表紙のしおり 澄心得妙観

画・小阪美道

日本人を“清潔”好きにした神道の祓と禊

罪穢れを嫌う心性が日本文化の基層に

加藤 隆久

和田岬線の歴史(3) 和田岬線と専用鉄道

藤原 英信

令和五年六月例会

和田岬小学校初代校長の卒業式挨拶文から見る戦後の和田岬

奥田 雅人

令和五年九月例会

近世海事の名工・工樂松右衛門の事績に関する再検証

～兵庫津佐比江新地の御影屋松右衛門を中心に

松田 裕之

生誕100周年の陳舜臣と生田神社 生田さんの境内でよく遊んだ

加藤 隆久

#### ◆撮影歴史研究 摂播歴史研究会

〒676-0004高砂市荒井町千鳥2-23-12 TEL079-442-0658 1986年創刊

◇93 2024.3 B5 6p

「式内社研究会播磨国調査班」活動記録(抄)

廣瀬 明正

#### ◆地域史研究 尼崎市立歴史博物館紀要

〒660-0825尼崎市南城内10-2 尼崎市立歴史博物館 地域研究史料室(あまがさきアーカイブズ) TEL06-6482-5246 1971年創刊

<http://www.archives.city.amagasaki.hyogo.jp/museum/>

◇123 2024.1 A5 193p

巻頭エッセイ 歴史研究とエンタメの狭間で

谷口 雅美

塚口さんさんタウンの歴史

話し手 三國浩／聞き手 西村豪・辻川敦

令和4年度尼崎市立中央図書館常設ミニ展示「杉山平一と尼崎 没後

一〇年 詩と映画と人生」誌上展示

伊東 琴子

史料紹介 尼崎の古代・中世史料と研究 連載第10回

尼崎市史古代・中世史料補遺(10)

尼崎市立歴史博物館地域研究史料室

尼崎城下名所・風俗狂詩など旧尼崎藩士・遠藤家文書

中村 光夫

「幼年時代」(思出の断片)

仁田 義男

仁田義男と「幼年時代」(思出の断片)

寺田 史朗

史煙 鹽見政次と田中太介

大正期初代尼崎市庁舎をめぐる二人の実業家

井上 衛

あまがさきアーカイブズ通信

尼崎市立歴史博物館デジタルアーカイブの公開  
あまおぶね(7) 尼崎のお地蔵さん

田中 敦

#### ◆西宮文化協会会報

〒662-0974西宮市社家町1-17 西宮神社内 TEL0798-33-0321  
<https://nishinomiya-ebisu.com/bunkyo/>

#### ◇670 2024.1 B5 8p

二月行事 文化講演会 西宮で起きた“たまたまの奇跡”が四代目

玉田玉秀斎を生んだ 講師・講談師 玉田玉秀斎氏

西宮の橋梁—西宮歴史調査団の調査成果(10) 甲武橋と西国街道 早栗佐知子

連続テレビ小説「ブギウギ」のルーツを阪神間に探る 小西 巧治

十月行事文化講演会「十日えびすの海からの早詣り」

森田雅也先生大いに語る

江寄健一郎

会員活動報告 『四年振りの船渡御祭』にて和田岬巡行

中村宏／山本純子

#### ◇671 2024.2 B5 8p

三月行事 春の見学会 阪神甲子園球場を歩く

笹部さくらコレクション

向山 芽

舞とマイムの間

河内 厚郎

会員活動報告 『椿宮短詩形文学賞』で全国入選

山本 純子

#### ◆歴史と神戸 神戸史学会

〒657-0845神戸市灘区岩屋中町3-1-4 田中印刷出版内 TEL078-871-0551  
年3000円 1962年創刊

#### ◇362 (63-1) 2024.1 A5 49p 600円

表紙 小泉製麻旧本社 (阪神・淡路大震災で全壊)

画・田中邦彦画伯

巻頭言

増田 行雄

特集 身の回りの丹波地域史研究

ひょうご史こぼれ話 寄藤兵大夫吉利とその周辺

寄藤 美子

「生類憐みの令」に向き合った丹波上竹田村の村人

山内 順子

波多野嘉衛門墓石碑文と絵師・長野祐親

芦田 典子

我が家に遺る貼り合わせの掛軸

—西有穆山・大内青巒・日置黙仙・何礼之の書画

土江 節子

能登半島地震で支援募金募集

歴史資料ネットワーク

神戸史学会賞・落合重信記念賞贈呈式／地域史卒論報告会

新聞地域版を読む 神戸新聞の文化財記事(2015年4月22日～5月14日)

大国正美／有吉康德

## 和歌山県

### ◆熊野 紀南文化財研究会

〒646-0051田辺市稲成町392 高山寺 曾我部大剛方 TEL0739-22-0274

年3000円 1969年創刊

### ◇165 2023.11 A5 48p

安宅荘の城館と地域社会(2) 安宅氏の本拠安宅・大古周辺 白石 博則

幕末・維新期、田辺領新庄村の「野」と「野々」 藤井 寿一

郷土関係新刊紹介 未完の天才 南方熊楠／解放への勇者よ！ 和歌

山県水平社創立100周年記念／中世水軍領主論 紀州熊野からのア

プローチ

文化財ニュース

会合メモ 近世史部会、理事会

### ◆熊野情報 熊野歴史研究会

〒647-0011新宮市下本町2-2-1 新宮市教育委員会文化振興課 山本殖生

TEL0735-23-3368 年3000円

### ◇231 2024.1 B5 2p

今年は世界遺産20周年です／米・クリーブランド美術館学芸員が来熊

／2月6日はお燈祭り／『中世水軍領主論』 茨城大学人文社会科学部

教授 高橋修先生／『豊臣家の人びとー栄光と悲哀の一族ー』 九度

山・真田ミュージアム名誉館長 北川央先生／『南端の暮しと真珠

貝採貝漁業の歴史・文化』 串本町文化財審議委員 上野一夫先生

／『紀南・地名と風土研究会会報』63号／事務局より

### ◆和歌山地方史研究 和歌山地方史研究会

〒649-6258岩出市山980-2-1312 江本英雄方 年3000円 1980年創刊

<http://wakayamachihoushi.blog.fc2.com>

### ◇85 2023.11 A5 89p

天正五年信長の雑賀攻めについて 寺西 貞弘

一七世紀における民衆の移動と領主的対応

一紀伊半島の旅人・巡礼・道心者・乞食非人 藤本清二郎

大亦楠太郎小論一足尾鉍毒反対運動・初期社会主義・お伽芝居 武内 善信

古地図からみた『高野山女人堂』の建築的特徴 山本 新平

動向 2023年度和歌山県内展覧会情報

彙報 和歌山地方史研究会の活動 第43回大会、第151回例会「近世

直川村の研究―玉井家文書の魅力」、第152回例会「“有田” 仏教文化研究の最前線」

## 島根県

### ◆郷土石見

〒699-5611 鹿足郡津和野町町田イ139-2 山岡浩二方 TEL0856-72-0794

1976年創刊

◇120 2023.12 A5 133p 1200円

口羽通良(くちばみちよし)

文・日高 亘

表紙と裏表紙写真 口羽通良坐像

島根県邑南町瑞穂地域の湿地に関する備忘録(1)

桑原一司／伊東明洋／岡里美／大野芳典／桑野修

長浜人形創家永見は旧三浦、和紙神楽面も創始

三浦 博文

晋源田の発掘調査現地説明会の誤りを正す

岩崎 健

毛利元就の戦略と陣城 小笠原氏攻略時の陣城

吉川 正

吉賀町沢田の「大元申し」

一四〇〇年以上途絶えることなく継承された神事

森岡 弘典

九世紀の石見 石見国国守襲撃事件 僧一道の身分について

岩町 暁

日脚神楽覚書 日脚神代神楽後援会

下野 秀人

浜田市三隅町の昔話

酒井 董美

戦争中の小学生の生活 一～三年

沖田 明子

町から村から

三隅氏の独立した時期について

岡本 潤

石見銀山研究会が発足しました ぜひご入会下さい

若槻 真治

### ◆大社の史話 大社史話会

〒699-0751 出雲市大社町杵築西2695-1 稲根克也方 TEL0853-53-4966

年2500円 1974年創刊

◇217 2024.2 B5 44p

私の出雲大社探訪(4) 瑞垣を一巡して

木村 進

史料紹介 大正年間の杵築の船歌

馬庭 孝司

江戸期に杵築を訪れた知名人

山崎 裕二

冬季企画展「大社駅の100年」

出雲弥生の森博物館(文責・吾郷誠)

企画展「誕生、隠岐国」

島根県立古代出雲歴史博物館

紙上「古文書講座」(7) (中級編③)

出雲市文化財課(文責・荒川英里)

読者コーナー 第1回「いずもだんじり祭り」が開催！

編集部

令和5年(2023)7月～9月出雲市大社町年表

編集部

表紙写真 藤間家の「勅使門」(県指定文化財)〈出雲市大社町市場通りに現存〉

## 岡山県

### ◆岡山地方史研究 岡山地方史研究会

〒700-0013岡山市北区伊福町2-16-9 ノートルダム清心女子大学文学部

久野研究室気付・小野功裕 TEL086-252-2482 年1500円 1986年創刊

<http://historyokayama.s1009.xrea.com>

### ◇161 2023.12 B5 36p

備前岡山の東照宮祭礼―藩主綱政の時代、後編

田中 豊

二〇二三年九月例会

除本理史・林美帆編著『「地域の価値」をつくる』合評会

書評 除本理史・林美帆編著『「地域の価値」をつくる』

西村慎太郎

「困難な過去」をどう継承するか

除本理史／林美帆

博物館・展覧会めぐり

戦国や刀に関わる連携展示(岡山県立博物館・岡山城・林原美術館)

を見て

内山 和有

頼山陽史跡資料館 令和五年度企画展『すっぱらぼんと生きる～頼

静子の生涯と日々の記録～』を観て

沢山美果子

読書日記 宮本常一・山本周五郎・梶西光速・山代巴監修『日本残酷

物語』1巻～5巻

定兼 学

### ◆岡山民俗 岡山民俗学会

〒700-0089岡山市北区津島本町16-5-3 小嶋博巳方 年4000円

1949年創刊 <http://okayamaminzokugakkai.web.fc2.com>

### ◇244 2023.12 B5 82p

備前の熊野比丘尼と地獄絵の絵解き

小栗栖健治

最上孝敬の両墓制成因論考 前編

加藤 正春

岡山県総社市岡谷 友野氏の先祖祭祀

一家意識の形成にともなう家譜編纂と心浄大師伝承

平松 典晃

現代版「草鞋親」への着目―現代農山村の自己変革を捉える視点

鶴 理恵子

毘沙門天の来る正月

―中国地方の正月三日の毘沙門天授福行事をめぐる予備的考察

小嶋 博巳

書評と紹介 小嶋博巳著『六十六部日本廻国の研究』

加藤 正春

◆岡山民俗学会会報

〒700-0089岡山市北区津島本町16-5-3 小嶋博巳方 年4000円

<http://okayamaminzokugakkai.web.fc2.com>

◇232 2024.1 B5 10p

新潟・五泉の大地蔵のこと

小嶋 博巳

私の民俗学履歴書

藤田 良樹

2023年度秋季民俗歩く会レポート

遠山 義雄

研究発表要旨 11月例会

備前市片上の祭礼調査報告

中務 睦美

スサノオ説話と岡山

難波 俊成

新刊紹介

木下浩・松村紀明『岡山の種痘―近世・近代の感染症との闘い』 森川奈津美

福本明・吉原睦『由加の民間信仰』 尾崎 聡

別冊(3頁) 受贈図書・雑誌 目次抄録(2023年9月～2023年12月受贈分)

◆きび野 岡山県郷土文化財団

〒700-0822岡山市北区表町1-7-15 702号 TEL086-233-2505

<http://www.o-bunka.or.jp>

◇169 2024.1 A5 14p

年頭にあって

石井 清裕

随想 雅なクモ ジョロウグモの一生

難波由城雄

岡山の人物 初の日本人機関士・日下輝道

小西 伸彦

岡山の自然 鬼ヶ嶽

渡邊 倫江

岡山の文化財 木喰仏「弘法大師像」

田中 愛弓

わが町・わが村の自慢 英田歴史民俗資料館(美作市)

ふるさとの思い出

山間の風景に息づく神代和紙(新見市神郷下神代)

仲田紗らさ

会員だより 西大寺はおもしろい

田中 昌子

広島県

◆芸備地方史研究 芸備地方史研究会

〒739-8522東広島市鏡山1-2-3 広島大学文学部日本史学研究室内

TEL082-424-6643 年3000円 1953年創刊 <https://geishi.hiroshima-u.ac.jp>

◇323 2023.5 A5 68p 600円

襖の下張り文書の資料学

一文書剥離作業の方法と新出「鞆祇園社文書」の復元 片岡智／嶋村佳奈  
史料紹介 「相杜家文書」の翻刻と解説1―成巻文書(中世)

中司健一／岡松仁／中原寛貴／水野椋太／光成準治  
歴史余話 鞆港湾施設跡雁木(北雁木・東雁木)石材属性調査について  
山岡渉／江草由梨

受贈図書目録

広島県の地方史研究 雑誌目録／研究活動

新聞記事から(2018年7月～12月)

芸備揭示板 企画展「広島近代化を担った建物たち―建造物からた  
どる広島―の歴史―」 広島市郷土資料館／「別世界 元宇品一陸地と  
つながった島の変容―」 広島市郷土資料館／「学芸員のオススメ～  
Part5」 広島城／近世文化展示室 菅茶山の世界「廉塾の器物」  
広島県立歴史博物館／近世文化展示室 守屋壽コレクション「近世  
の港町と鞆の浦」 広島県立歴史博物館／草戸千軒町遺跡調査研究  
所開所五十周年記念ミニ展示「草戸千軒と舟」 広島県立歴史博物  
館

#### ◆備陽史探訪 備陽史探訪の会

〒720-0824福山市多治米町5-19-8 TEL084-953-6157 <https://bingo-history.net>

◇233 2024.1 A4 16p

備後国衆列伝(19) 御調郡の木梨氏 会長 田口義之  
調査報告 中世石造物の調査報告  
ワンショット・レポート～ぶら探訪「備中・備後の国境に「滝山城」  
を訪ねる」

研究レポート 福山城下惣構北側の防御Ⅲ 瀬良 泰三  
ワンショット・レポート～バス例会「吉備の「王墓」を訪ねる」  
近世福山の歴史講座 49回 松平時代 後半の部 高木 康彦  
研究レポート 長和佐波城跡について 杉本 憲宏  
お知らせ 「福山古墳ロード」をリニューアルします！ 備陽史探訪の会事務局

#### ◆みよし地方史 三次地方史研究会

〒729-4304三次市三良坂町三良坂2747 中畑和彦方 TEL0824-44-2753  
1987年創刊

◇122 2023.12 A4 16p

|                                  |       |
|----------------------------------|-------|
| 耕古烈日一豊元國と三次                      | 後藤 研一 |
| 三次盆地の前方後円墳(28) 幸利山古墳出土の須恵器       | 加藤 光臣 |
| 地名の読み方について考える                    | 後藤千賀子 |
| 三次地方の古文書あれこれ(2) 明治初期の米穀商願及びその許可書 | 中畑 和彦 |
| 三次町役人の記録にみる三次藩の最後一新出史料「役用之日録」より  |       |
|                                  | 立畑 春夫 |
| みよしこばれ話(3) 学友の姿から改めて勉学の厳しさを学ぶ    | 中畑 和彦 |

◆わが町三原 みはら歴史と観光の会

〒723-0051三原市宮浦6-9-32 鈴木方 年3600円 FAX0848-63-9932

◇394 2024.1 B5 12p

甲辰年の新年 五龍橋欄干で逞しく構える龍頭 安芸高田市

画・上田嘉信(レキカン会長)

今月の各地 新年の挨拶

上田 嘉信

令和5年度市郷連歴史講演会記録

小早川隆景と乃美宗勝一その3 完結編(1)

秋山 伸隆

昭和の思い出(3) 港関連

大谷 和弘

◇395 2024.2 B5 12p

三原港の初日の出 入港する船を力強く後押しする初日

三原内港西公園にて 2024.01.01 撮影・大原哲子(港町)

今月の各地 秘めたる思いやり

大坪 一夫

令和5年度市郷連歴史講演会記録

小早川隆景と乃美宗勝(3) 完結編(完)

秋山 伸隆

昭和の思い出(4) 防諜他(前編)

大谷 和弘

## 愛媛県

◆いせき ニュースレター 遺跡発行会

〒791-2101伊予郡砥部町高尾田1108-3 そがめ塾気付 TEL089-905-2925

◇177 2023.7 A4 8p

久万高原町霧峰の棟上げの破魔矢

遠部慎／十亀幸雄

◇178 2023.8 A4 16p

東予の鏡(5) 朝倉・根上り松古墳出土の四神四獣鏡(2)

名本二六雄

砥部焼窯元銘のある大宮八幡神社嘉永銘手水鉢

十亀 幸雄

◇179 2023.9 A4 16p

東予の鏡(6) 今治市国分古墳出土の三角縁神獣鏡(前)

名本二六雄

- 伊予の近世石工為吉の手水鉢 十亀 幸雄  
 ◇180 2023.10 A4 24p  
 《15周年記念号》  
 東予の鏡(7) 今治市国分古墳出土の三角縁神獸鏡(2) 名本二六雄  
 共同研究 出土銭貨一覧(道後平野西部) 山之内志郎  
 赤坂泉開鑿 十亀 幸雄  
 ◇181 2023.11 A4 12p  
 東予の鏡(8) 今治市国分古墳出土の三角縁神獸鏡(3) 名本二六雄  
 窪田兵右衛門「代衆以死」顕彰碑 十亀 幸雄  
 ◇182 2023.12 A4 12p  
 中予の鏡(1) 伊予市上三谷 広田神社近傍出土の三角縁神獸鏡(1) 名本二六雄  
 伊予の中近世河川灌漑(7) 松前町浦ノ川大堰と市ノ井出(上) 十亀 幸雄  
 ◇183 2024.1 A4 16p  
 中予の鏡(2) 伊予市上三谷 広田神社近傍出土の三角縁神獸鏡(2) 名本二六雄  
 伊予の中近世河川灌漑(8) 松前町浦ノ川大堰と市ノ井出(下) 十亀 幸雄  
 再録 宮ヶ谷古墳の調査 河原茂・正岡陸夫

#### ◆伊予史談 伊予史談会

- 〒790-0007松山市堀之内 愛媛県立図書館内 1915年創刊  
 ◇412 2024.1 A5 49p 750円  
 戦国期四国統一についての考察—喜多郡郡内表争乱をめぐる解釈 桑名 洋一  
 天正前期伊予宇摩郡をめぐる政治状況についての一考察 加藤 弘  
 松野町大井手井堰の中近世河川灌漑と廣福寺修験 十亀 幸雄  
 明治二八年道後鉄道開業時の駅名について 柚山 俊夫  
 新刊紹介 門田岳久著『宮本常一〈抵抗〉の民俗学—地方からの叛逆』、「伊豫稲荷神社宝物殿」文化財保存管理活用調査委員会編『伊豫稲荷神社文化財調査報告書』、愛媛県歴史文化博物館編『甦る名城 香川元太郎 城郭原画展 愛媛編』、一般財団法人今治文化振興会 今治城編 令和五年度今治城特別展『動乱の時代と人びと—今治市域の幕末』／伊予史談会絵図のデジタル公開 編集部  
 郷土その日その日 自令和5年8月至令和5年11月 編集部(柚山俊夫)  
 例会記事 第1289回 逞文学会『文学之葉』とその周辺 川島佳弘氏、  
 続・元禄期の松山城下を巡る 松友武昭氏／第1290回 江戸時代の  
 けんか、雨乞い—三間の文書を読み解く 柚山俊夫氏／第1291回  
 加藤彰廉—実務教育に生涯を捧げた松山高商初代校長 富吉将平  
 氏、明治期における愛媛県立中学校の成立—伊予尋常中学校を中心

に 永井紀之氏

◆小松史談 小松史談会

〒799-1101西条市小松町新屋敷甲3007-1 西条市立小松温芳図書館

郷土資料室 TEL0898-72-5634

◇150 2024.1 A5 176p

新年のごあいさつ 石丸 敏信

巻頭言 古文書を楽しもう！ 石丸 敏信

小特集 小松の教育200年

旧尋常高等小学校の本館について 伊藤 敏昭

小松中学校の草創期—新制中学校の基盤形成期の諸相 武田 味生

小松高校発「えひめ教育資料館」の開館に向けて

—高校生の地域文化の魅力探究とその発信への活動を通じて 田所軍兵衛

小松町域の近代教育資料補遺 袖山 俊夫

篤山先生に学ぶ三道(孝道・師道・政道)—論語・漢詩・和歌から 志賀 孝弘

小松藩会所日記・覚え書 一柳勘之丞事件 石丸 敏信

篤山一家、銅山へ移住する前のことについて 喜代吉榮徳

石根の歴史シリーズ(4) 石根の昔の職業

原文作者 高橋孝一／補筆・紹介 織田義彦

研ちゃんのおもしろ昔話シリーズ(3) 谷五郎さん 曾我部研二

松ノ丁遺跡の発掘調査成果 岡島 俊也

アジアの発酵茶—石鎚黒茶との比較 大本 敬久

コラム

小松の歴史 ハコマ漫画(7) 處 友香

医食農連携プラットフォーム 小松藩研究部会報告 横田光生／越智敏雄

新規指定文化財「一柳直卿公の書と扁額」 事務局(友澤)

特別展「郷土資料室のお宝展」開催の報告 事務局(越智)

歴史講座31話「実演 伊藤さんの蓑づくり」開催の報告 事務局(越智)

令和五年度小松藩主墓所を守る会活動報告 (伊藤)

令和五年度会務報告

◆砥部古文書の会 ニュースレター

〒791-2101伊予郡砥部町高尾田1108-3 そがめ塾気付 TEL089-905-2925

2022年創刊

◇8 2023.6 A4 8p

6月例会のご案内／4月総会報告

6月砥部古文書講座

「社寺古跡山川由来書」第6回 重信川・なすびが窪(上)の項 宮本 直美  
2月例会参加者の明さんへ 書き写して学ぶ古文書(5)

報告 松野町 芝家文書について 太田由美子

報告 (じっせん柚山式穴埋め古文書学習法)

大宮八幡神社の有熏元銘手水鉢・手水鉢(前) 十亀 幸雄  
2022(令和4)年度砥部古文書の会活動報告／2023(令和5)年度砥部古文書の会活動計画

◇9 2023.8 A4 8p

8月例会のご案内／6月例会風景 砥部町中央公民館会議室／6月例会報告

8月砥部古文書講座

「社寺古跡山川由来書」第7回 なすびが窪(中)の項 宮本 直美  
8月例会参加者の皆さんへ 書き写して学ぶ古文書(6)

古文書解説A I アプリ「古文書カメラ」 十亀 幸雄

第1回砥部古文書の会史跡探訪 「社寺古跡山川由来書を歩く」

◇10 2023.10 A4 8p

10月例会のご案内／8月例会風景 砥部町中央公民館会議室  
砥部古文書の会史跡探訪「社寺古跡山川由来書を歩く」写真速報  
8月例会報告

10月砥部古文書講座

「社寺古跡山川由来書」第8回 なすびが窪(下)の項 宮本 直美  
報告 砥部の庄屋跡探訪第3回 大野家宮内村庄屋跡 十亀 幸雄

佐 賀 県

◆末盧国 松浦史談会

〒847-0823唐津市旭が丘6-5 TEL0955-73-3549 年2000円 1962年創刊

◇236 2023.12 B5 20p

「唐津の近世文書教室」 古文書史料紹介『除書(岸田文書No.九七七)』濱口 尚美  
寺沢家臣 福富与三兵衛 寺沢 光世

松浦史談会会員及び賛助会員募集／原稿募集

唐津・発掘・発見の話(24) 加部島と七山仁部の遺跡について

附田島神社の扉文字 徳富 則久

唐津を探して 徳富 則久

古文書史料の紹介

「長防御征伐一件帳 二番 神田組 慶應二年寅三月」  
 唐津地方の歴史道 杉野浦道を探して  
 唐津の近世考古学から(2)ーウマ  
 令和五年度 秋の市内探訪会報告  
 大谷川隧道／伊能道と太閤道／お久様塔／会長講座

山田 洋  
 馬場 良平  
 田島 龍太  
 江崎 勝矢

## 宮 崎 県

### ◆石の証言 「八紘一字」の塔を考える会

〒880-0026宮崎市波島2-30-2 佐藤文則方 年2000円 1995年創刊

◇114 2024.1 A4 12p

石の証言 お立ち台のある前方の基壇（機関誌第85号 2018年7月15

日 再録）

第32回ウォッチング「八紘一字」の塔

日中友好・平和・不戦 慰霊追悼の集い

南京民間抗日博物館呉先斌館長の代りに新年挨拶

新年あけましておめでとうございます。

全国各地の「八紘一字」の石碑(4)

追立 敏弘

「八紘一字」は事典・辞書でどのように説明されているかの石碑(4)

土岐 宗春

「平和の塔」？ いや、やはり「八紘一字の塔」

ー前号の学習会参加者の感想文を読んで

矢野 勝敏

## 鹿 児 島 県

### ◆鹿児島民俗 鹿児島民俗学会

〒891-0150鹿児島市坂之上3-11-2 松原武実方 TEL099-261-2604 年4000円  
 1950年創刊

◇164 2023.12 B5 98p

表紙 志布志市安楽在住の本会員那加野久廣氏が作った盆の精霊棚

2023年8月

表紙写真解説 志布志の精霊棚

松原 武実

昭和の種子島（私の昭和13）

橋口 尚武

広田(南種子島町平山)の土葬のしきたり

向井 良隆

南種子島の石塔祭り

牧島 知子

河童は水神か妖怪か

森田 清美

指宿市児ヶ水地区の方言

橋口 満

|                                                                                                                                                                   |       |
|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------|
| 鯉節・せんじの作り方ー悪石島の場合                                                                                                                                                 | 渡山 恵子 |
| 奄美の日本復帰 三指導者の人物像ー復帰実現70年に寄せて                                                                                                                                      | 名越 護  |
| 宇検村生勝のカツオ漁船「漁宝丸」の終末を探る                                                                                                                                            | 名越 護  |
| 宇検村生勝の年中行事                                                                                                                                                        | 名越 護  |
| 生勝のノロと年中行事の関わり                                                                                                                                                    | 名越 護  |
| 鳥の民俗語彙（後編③の1）                                                                                                                                                     | 橋口 満  |
| 資料 異國船方御手当写 川邊                                                                                                                                                    | 前床 重治 |
| 志布志研究会概要報告 一、志布志地方の方言の特色 橋口満／二、<br>志布志織り（麻織物）について 牧島知子／三、志布志地域に伝わ<br>る仮面文化 出村卓三／四、諸職について 所崎平／五、志布志町<br>の陸稲（のいね）栽培と焼畑 川野和昭／六、那加野家所蔵の近代史<br>資料（明治期から終戦時迄）について 那加野久廣 |       |
| 活動報告 例会                                                                                                                                                           |       |
| 「かごしまの祭り・行事調査事業」の成果と課題(1)                                                                                                                                         | 園田 美雪 |

## 沖 縄 県

### ◆宮古郷土史研究会会報

〒906-0013平良市下里1223-8 下地和宏気付 TEL0980-72-9963

年3000円 1977年創刊 <https://kyodoshiken.ti-da.net>

### ◇259 2023.11 B5 8p

十一月定例会レジメ マサクと伊良部島異聞 大西 威人

十二月定例会レジメ

佐渡山正吉氏作成の資料紹介ー大神島をめぐる資料 事務局

宮古の政治的支配者は渡来人かー九月定例会を終えて 下地 和宏

宮古の墓の変遷について考えるー十月定例会の巡見を終えて 事務局

第18回市民総合文化祭 郷土史部門 宮古の井戸巡り 久貝 香陽

ウイキヤームトゥ発掘調査現地説明会 久貝 香陽

投稿企画「私のイチ推し文化財」

祖母の信じた六霊嶽 仲宗根將二

文化財名指定名勝「佐和田の浜珊瑚礁・礁湖面」 平良 光徳

「慰安婦」祈念碑建立十五年 仲宗根將二

### ◇260 2024.1 B5 8p

一月定例会レジメ

クジラと塩と布の物語ー三〇年間の調査を振り返って 江上 幹幸

二月定例会レジメ 宮古馬取扱講座ー宮古馬の飼育経験をととして 久貝 春陽

|                               |       |
|-------------------------------|-------|
| 十一月定例会を終えて「マサクと伊良部島異聞」の報告を終えて | 大西 威人 |
| 佐渡山正吉作成資料の紹介—十二月定例会を終えて       | 事務局   |
| 第四一回企画展「新収蔵品展」の紹介             | 森谷 大介 |
| 宮古島市歴史文化活用推進事業                |       |
| 「親子藍染め体験」と「宮古上布工房めぐり」         | 新田 由佳 |
| 宮古島市歴史文化資料館 苧麻績み展示室の常設展開設     | 久貝 弥嗣 |
| 投稿企画「私のイチ推し文化財」 宮国元島遺跡        | 西銘 章  |
| 初代池間文化協会会長 石原信一先生を悼む          | 仲宗根將二 |

### 寄贈図書紹介

#### ◆コロナ禍と民俗 令和5年度第39回東北民俗学合同研究会

秋田県民俗学会（〒010-0942 秋田県秋田市川尻大川町2-8 秋田文化出版株式会社気付 TEL018-864-3322）2023年11月 A4 33頁

秋田県民俗学会の主催で開催された第39回東北民俗学合同研究会の資料集。開催のごあいさつ（鎌田幸男）／主題主旨説明（小田島清朗）／発表1 「疾病の民俗」に取り組む（守谷英一）／発表2 コロナ禍における祭祀組織の対応—白河提灯祭りを中心に（鑓水実）／発表3 コロナ禍でのミュージアム展示（畑井洋樹）／発表4 コロナ禍の岩手の神社—まつりの持続可能性について（佐藤一伯）／発表5 コロナ禍における町会ねぶたの変化について（小山隆秀）／発表6 スペイン風邪・コレラの実態と秋田の疾病退散民俗（小田島清朗）／発表者のプロフィール／第39回東北民俗学合同研究会 秋田県民俗学会実行委員会

#### ◆特別展 芥川龍之介がみた江戸・東京

たばこと塩の博物館編・刊（〒130-0003 東京都墨田区横川1-16-3 TEL03-3622-8801）2023年9月 A4 16頁

たばこと塩の博物館特別展のリーフレット。芥川龍之介（明治25年〈1892〉～昭和2年〈1927〉）の人生や作品とともに、彼が見たであろう変貌著しい東京の風景について浮世絵や絵葉書を通して紹介する。あわせて、彼が愛喫した「ゴールデンバット」のほか、きせるから紙巻きたばこへの移行期でもあった当時のたばこ事情についても紹介する。龍之介の生い立ち～明治期の本所・両国～／学生時代・作家への道～龍之介と学校制度～／龍之介と大正・昭和初期という時代／龍之介とたばこ～近代たばこ小史～

#### ◆民俗学研究所創設五十周年記念特別展 「採集手帖」の時代

—柳田國男主導の共同調査の試み 民研報告36

成城大学民俗学研究所編・刊（〒157-8511 東京都世田谷区成城6-1-20 TEL03-3482-9098）2023年11月 B5 59頁

1930年代に「山村調査」「海村調査」と呼びならわされる共同調査を計画・指導した柳田國男の試みを中心に、民俗学における共同調査の展開を紹介する。ごあいさつ(小島孝夫)／柳田國男の共同調査／内郷村調査／山村調査／海村調査／離島調査／民俗学研究所の追跡調査／共同調査と調査項目『採集手帖』の変化／共同調査の展開／九学会連合研究／民俗総合調査／『あるくみるきく』／文化財保護行政と民俗調査／日本民俗地図／『日本の民俗』／自治体史編纂事業と民俗調査／主要参考文献・展示制作者一覧

◆飽食以前 イモと雑穀の民俗

野本寛一著 柊風舎 (〒161-0034 東京都新宿区上落合1-29-7 ムサシヤビル5F TEL03-5337-3299) 2024年1月 A5 635頁 8500円＋税

環境に応じて食い継ぐための数々の知恵と工夫をこらした先人たちの体験や伝承を通して、食の本当の豊かさを問う。序章 米食以外一常食されてイモと雑穀に寄せて／Ⅰ章 イモ 里芋(静岡県中・西部山地の里芋一食制との関連から、北の里芋、近畿の里芋、南の里芋、里芋の文化論・伝播論以前)、甘藷(体験と伝承、語りからの受信)、馬鈴薯(馬鈴薯の記憶と方名、体験と伝承、語りからの受信)／Ⅱ章 雑穀 稗(稗栽培と環境対応、稗の加熱処理、稗の食法、稗のシトギ、稗酒)、粟(粟をめぐる営みの諸相、小正月の粟穂・稗穂、粟と祈り)、黍とモロコシ(黍とは モロコシとは)、トウモロコシ(四国山地一トウモロコシをめぐる営みの諸相、九州山地一トウモロコシをめぐる営みの諸相、中部地方一トウモロコシをめぐる営みの諸相)／終章 補いの綴り(蕎麦、シコクビエ、イモ・雑穀の栽培環境伝承、定畑の作物変遷、山のムラと生業複合)／あとがき

◆南方熊楠日記 昭和六年・七年 南方熊楠資料叢書

南方熊楠顕彰会編・刊 (〒645-0035 和歌山県田辺市中屋敷町36 南方熊楠顕彰館内 TEL0739-26-9909) 2023年3月 A5 320頁

『南方熊楠・平沼大三郎 往復書簡 [大正十五年]』(平成19年)、『南方熊楠・小畔四郎 往復書簡(一)～(四)』(平成20年～23年)に続く南方熊楠資料叢書最新刊。南方熊楠顕彰館所蔵の南方熊楠日記のうち昭和六年・昭和七年分を翻刻・収録する。凡例／南方熊楠日記 昭和六(一九三一)年／南方熊楠日記 昭和七(一九三二)年／伊藤誠哉宛菌類標本一覧／あとがき(大和茂之)

## ◆後記

能登半島地震により犠牲になられた、石川県能登半島地域の方々の御冥福をお祈りいたします。併せて、被害に遭われた、同県および富山、新潟、福井、長野、岐阜、愛知、兵庫の各県と大阪府の皆様に、心よりお見舞いを申し上げます。

能登半島の輪島市では、『石川県輪島漆芸美術館紀要』、『加能地域史』（同研究会）、『久之の郷』（門前町郷土史研究会）、珠洲市では、『すずろものがたり』（珠洲郷土史研究会）、七尾市では、『七つ尾』（七尾城址文化事業団）と『能登の文化財』（能登文化財保護連絡協議会）が発行されている。被災地域では、研究会活動の長期の停滞が予想される。しかし、生活の再建とともに、被災体験を同時代史として記録し、次代につなげていくことを通じて立ち上がって欲しいと願ってやまない。

幼・少年期を現在の石川県羽咋郡志賀町で過ごした大審院判事で、明治維新史・文化史研究者の尾佐竹猛(1880-1946)は、13歳から地誌の調査、執筆を始め、大著『志賀瑣羅誌』（しかさらし。私家版 1908。高浜町文化財調査委員会復刻 1970）を遺した。また、私事ながら、文献調査・書誌作成法の師であった深井人詩さん(1935-2020)も、同町の生まれである。明治大学史資料センターで長年続けてきた尾佐竹の調査や、深井さんに誘われて能登には何度か足を運んだ。

尾佐竹に、「裏日本といふこと」（『加越能郷友会会報』第51号 1936。明治大学史資料センター監修『尾佐竹猛著作集』第24巻 文化・地方史6 ゆまに書房 2006）という一文がある。そこで、北陸地方を裏日本と呼ぶことは大嫌いである、古く遡れば渤海国との交通の要津であり、わが国が海外に発展する突端は日本海沿岸であった、日本海は一の庭池に過ぎない、そもそも表日本裏日本という差別は止めるべきであると力説した。

唐と同時代に大陸にあった渤海から、727年から920年にかけて使者が35回も来日し、わが国からも13回派遣されている。渤海使は、入江が深く穏やかな福良津（現現志賀町福浦港）を、帰国前の休養、造船の地とした。造船、修理に供するため、湊の裏山は木木の伐採が禁止された。江戸時代には北前船の風待港となった。先年、深井さんに案内いただいて湊を歩き、志賀町立富来（とぎ）図書館で関係資料を閲覧した。尾佐竹は郷土の人たちに、土地の歴史に誇りを持って欲しいとエールを送った。どうか復興の支えにいただきたい。（飯澤）

地方史情報 166 2024年(令和6年)3月1日 発行

編集・制作 : 白鳥舎 hakucho@eris.ais.ne.jp

ウェブサイト公開: 岩田書院 <http://www.iwata-shoin.co.jp>

〒157-0062 東京都世田谷区南烏山4-25-6-103 TEL03-3326-3757

\*本誌は、140号より、PDF版のみの発行です。